

令和8年度第1回朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議

次 第

日 時 令和8年7月27日（月）

午後2時から4時まで

会 場 朝霞市役所 全員協議会室

1 開 会

2 議 題

（1）移動支援策について

資料1 移動支援策一覧・移動支援策分布図

（2）介護情報基盤について

資料2 介護情報基盤とは

（3）第9期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の振り返りについて （事業総括）

資料3 第9期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
重点課題 進捗管理シート

（4）第10期計画アンケート調査結果の報告について

資料4 第10期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定
に向けたアンケート調査結果報告書

（5）第10期介護保険事業計画に係る国の基本指針について

資料5 基本指針の構成について

（6）第10期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（骨子案）について

資料6 第10期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（骨子案）

3 閉 会

移動支援策一覧

	移送サービスに係る制度名称	対象者	移送の範囲 (対象となる行為)	助成内容	根拠法令、要綱等	備考	所管課
①	高齢者等移送サービス利用料補助事業	寝たきり又は常時車いすを利用し、移送車両を利用しなければ移送が困難な方(原則:65歳以上、例外:介護保険2号被保険者(40歳以上))	病院の入退院、老健入所者の通院、介護施設への入退所、施設間の移送、冠婚葬祭、選挙のための移送	移送にかかる費用(限度額3万円/月) 非課税:1割負担 課税:3割負担	任 高齢者等移送サービス利用料補助事業実施要綱		高齢者・地域福祉課
②	市内循環バス運行事業	市民	市内のバス停留所	助成なし	任 —	市内循環バスわくわく号	まちづくり推進課
③	公共交通空白地区への新たな公共交通運行事業	市民	市内のバス停留所	助成なし	任 —	わくわくワゴンねぎし号・ひざおり号	まちづくり推進課
④	シェアサイクル事業	市民	HELLO CYCLING提携ステーション内	助成なし	任 —		まちづくり推進課
⑤	デマンド交通(タクシー補助)実証運行	下記いずれかの市民 ・75歳以上 ・要介護・要支援 ・妊産婦(出産予定月の1年後の月まで利用可) ・運転免許返納者	—	タクシー料金の合計(迎車料金、初乗り運賃、加算運賃等)の半額(上限700円) 月4回まで	任 —		まちづくり推進課
⑥	交通系ICカード補助事業	下記いずれかの市民 ・身体障害者手帳1級、2級、下肢3級の所持者 ・療育手帳 ○A、A、B の所持者 ・精神障害者保健福祉手帳1級、2級の所持者	—	バス・鉄道共通ICカードへのチャージ料を交付 (年額15,000円を限度額として補助)	任 重度心身障害者福祉タクシー券交付・自動車燃料費及びバス・鉄道共通ICカード利用料金補助要綱	障害者福祉助成事業(交通系ICカード補助事業、自動車燃料費補助事業、福祉タクシー利用料金助成事業)のうち1つ	障害福祉課
⑦	自動車燃料費補助事業	下記いずれかの市民 ・身体障害者手帳1級、2級、下肢3級の所持者 ・療育手帳 ○A、A、B の所持者 ・精神障害者保健福祉手帳1級、2級の所持者	—	自動車の燃料代を補助 (年額15,000円を限度額として補助)	任 重度心身障害者福祉タクシー券交付・自動車燃料費及びバス・鉄道共通ICカード利用料金補助要綱	障害者福祉助成事業(交通系ICカード補助事業、自動車燃料費補助事業、福祉タクシー利用料金助成事業)のうち1つ	障害福祉課
⑧	福祉タクシー利用料金助成事業	下記いずれかの市民 ・身体障害者手帳1級、2級、下肢3級の所持者 ・療育手帳 ○A、A、B の所持者 ・精神障害者保健福祉手帳1級、2級の所持者	—	タクシー利用券の交付 初乗運賃分(500円)を年間30枚交付 (1回の乗車の際に、乗車料金が初乗運賃相当額の2倍以上の額になる場合に限り利用券を2枚まで利用可)	任 重度心身障害者福祉タクシー券交付・自動車燃料費及びバス・鉄道共通ICカード利用料金補助要綱	障害者福祉助成事業(交通系ICカード補助事業、自動車燃料費補助事業、福祉タクシー利用料金助成事業)のうち1つ	障害福祉課
⑨	障害児(者)生活サポート事業	在宅の心身障害、知的障害、精神障害児(者)	施設での一時預かり、外出、送迎など	年間150時間を限度	任 障害児(者)生活サポート事業実施要綱	介護保険法による介護保険給付の対象となる介護サービス、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援給付の対象となる障害福祉サービスを優先	障害福祉課
⑩	通院等乗降介助(訪問介護)	要介護1～5の認定を受け、ケアプランに必要性が位置づけられている者	病院への入退院・受診、官公庁、銀行、選挙のための移送	費用:介護報酬は97単位 朝霞市の地域単価は10.84円のため、片道1回につき1,051円(1割負担の場合は105円)	法 介護保険法		介護保険課

移動支援策分布図

対象者の限定性

制度の空白地帯
→インフラ整備型

⑥交通系ICカード補助

目的の限定性強い地帯

①高齢者等移送サービス

⑨障害児(者)生活サポート

⑦自動車燃料費補助・⑧福祉タクシー

⑩通院等乗降介助

⑤デマンド交通

③公共交通空白地区への
新たな公共交通

②市内循環バス運行事業

④シェアサイクル事業

制度の空白地帯
→元気な方

移動経路の柔軟性

介護情報基盤とは

これまで分散していた介護保険サービスに関する情報を集約し、利用者、介護事業所、医療機関、市町村といった、介護保険サービスに関わる方々の連携を強める仕組みです。

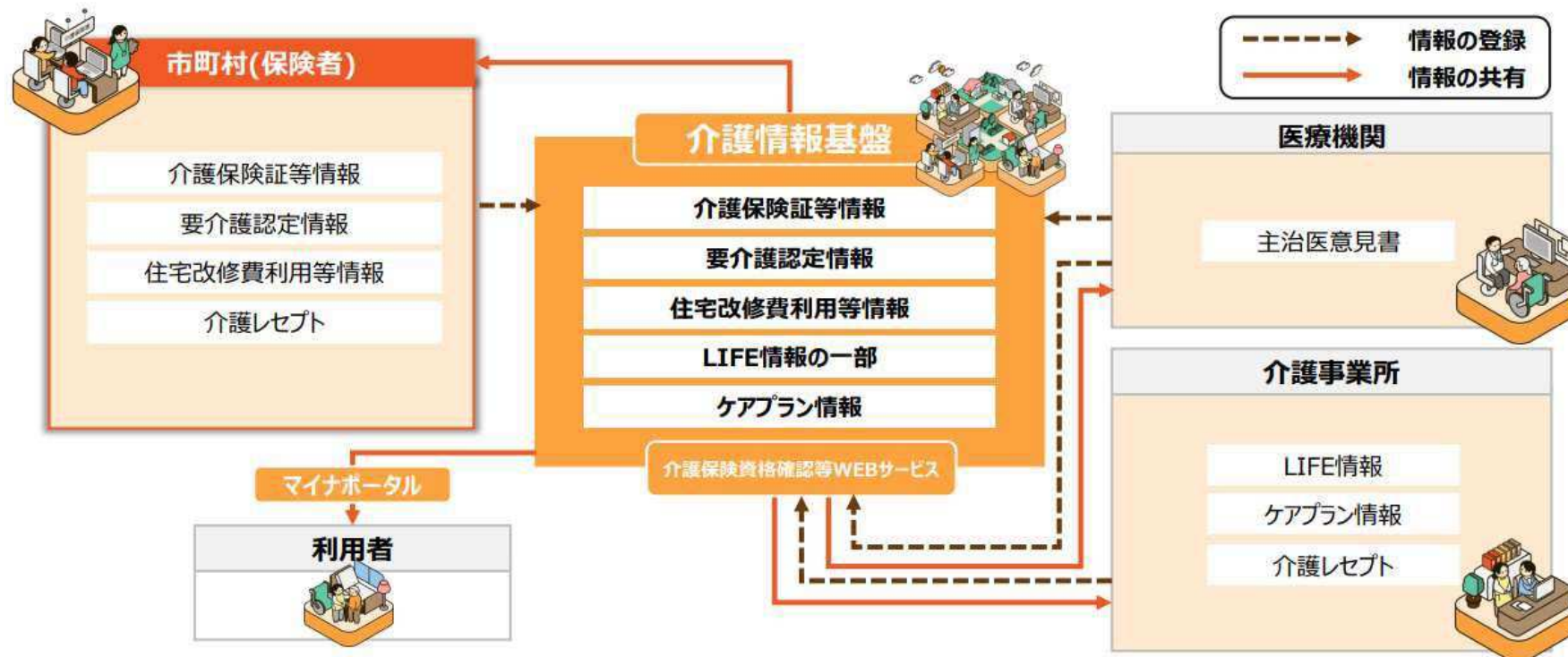
介護に関する情報を電子的に確認できるようになることで、介護保険にかかる申請期間の短縮や、介護保険サービスの質の向上が期待されています。

朝霞市では令和9年3月25日から開始予定。

介護情報基盤とは

全体の概念図

介護に関わる各システムの情報が、介護情報基盤に集まり、共有・登録・管理できるようになります。



介護情報基盤のメリット

介護情報基盤の3つのメリット

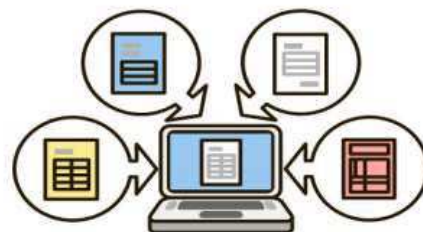
介護情報基盤の導入によって期待できる、3つの大きなメリットです。

事務作業の効率化



紙での手間や負担のかかる作業が減り、より素早く容易に仕事を行えます。

情報をひとつに集約



介護保険資格・主治医意見書・ケアプランなどの情報を集約し、サービス間で共有できます。

手続きをリアルタイムで



申請・提出・受理などの作業を、郵送や電話を介さずオンラインですぐに完結できます。

介護情報基盤のメリット

介護事業所の例

- ・負担割合証、限度額認定証等、給付に必要な情報の確認ができる。
- ・認定審査期間中の進捗確認ができる。
- ・ケアプラン作成に必要な認定関連書類の確認ができる。
- ・住宅改修費・福祉用具購入費の利用状況が確認できる。 など

今後のスケジュール



第9期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 重点課題 進捗管理シート

◎重点課題1 一般介護予防事業の強化

○成果目標1 65歳以上の要支援認定者の割合の減少
第1号被保険者数に対する第1号要支援者数の割合

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	4.4%	4.3%	4.2%
実績値	5.2%	5.4%	－%

○成果目標2 一般介護予防事業の参加者数の増加
一般介護予防事業の参加者数(市主催分)

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	4,500人	4,800人	5,000人
実績値	5,357人	5,808人	－人

◎重点課題2 高齢者の社会参加の促進

○成果目標1 住民主体の通いの場への参加者数の増加
住民主体の通いの場への参加者数

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	10,700人	11,200人	11,700人
実績値	11,424人	12,550人	－人

○成果目標2 認知症施策企画・立案時における認知症の人の参加
認知症施策企画・立案時における認知症の人の参加者数

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	1人	2人	3人
実績値	0人	1人	－人

◎重点課題3 在宅サービス基盤の充実

○成果目標 看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備

看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備数

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	0か所	1か所	1か所
実績値	0か所	0か所	－か所

◎重点課題4 重層的支援体制の整備

○成果目標1 重層的支援体制の整備完了

重層的支援体制の整備経過

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	準備	準備	整備完了
実績値	準備	準備	－

○成果目標2 地域ケア会議の多分野における事例検討

地域ケア会議の多分野における事例検討数

年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画目標値	4事例	5事例	6事例
実績値	4事例	3事例	－事例

第10期 朝霞市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けた
アンケート調査結果報告書

令和8年3月

朝 霞 市

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法及び回答状況	1
3	圏域別回収率	3
4	集計上の留意点	3
II	調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】	4
問1	あなたのご家族や生活状況について	5
問2	からだを動かすことについて	8
問3	食べることについて	14
問4	毎日の生活について	17
問5	地域の活動について	28
問6	たすけあいについて	33
問7	健康について	45
問8	認知症について	50
問9	成年後見制度について	60
問10	人生会議（アドバンス・ケア・プランニング／ACP）について	65
問11	介護予防について	72
III	調査結果【在宅介護実態調査】	78
A票	（対象者：介護を受けている方）	79
B票	（対象者：介護をしている家族、親族）	90
IV	調査結果【介護保険第2号被保険者】	94
問1	あなたのご家族や生活状況について	95
問2	地域の交流について	97
問3	あなたが介護をする場合について	100

問4	将来、あなたに介護が必要となった場合について-----	114
問5	認知症について-----	115
問6	成年後見制度について-----	125
問7	高齢者福祉の支援等について-----	127
問8	人生会議（アドバンス・ケア・プランニング／ACP）について-----	130
IV	調査結果【在宅生活改善調査】-----	137
	【事業所票】-----	137
	【利用者票】-----	139
V	調査結果【居所変更実態調査】-----	146
VI	調査結果【介護人材実態調査】-----	151
	【事業所票】-----	151
	【訪問系職員票】-----	156
VII	調査結果を踏まえた課題の分析-----	157
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果概要-----	157
2	在宅介護実態調査結果概要-----	173
3	介護保険第2号被保険者向けアンケート調査結果概要-----	180
4	在宅生活改善調査結果概要-----	188
5	居所変更実態調査結果概要-----	192
6	介護人材実態調査結果概要-----	193
資料編	-----	196
1	圏域特性-----	196
2	各種調査票-----	201

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、令和9年度を初年度とする「第10期朝霞市 高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するに当たり、高齢者福祉サービス等に対する御意見、ニーズ等の把握を目的に実施したものです。

2 調査方法及び回答状況

(1) 第1号被保険者向け高齢者福祉と介護保険の事業計画のためのアンケート調査 (以下、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」という。)

市内在住の満65歳以上の方（要介護1～5の方を除く。）の中から、無作為で抽出した5,000名を対象として、高齢者の生活状況や生活支援のニーズなどを把握し、今後の高齢者等支援施策の検討に向けた基本資料を得ることを目的に実施した調査

調査方法：郵送による配布、郵送又はWEBによる回収での調査

実施時期：令和7年12月

配布数	回収件数	回収率
5,000件	3,405件（うちweb回答462件）	68.1%

(2) 在宅介護実態調査

在宅で生活している直近1年以内に要介護・要支援認定を受けている市内在住の方1,300名を対象に、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続の実現」に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的に実施した調査

調査方法：①要介護認定者 900件

担当の居宅介護支援事業所のケアマネジャーによる聴き取り調査

②要支援認定者 400件

郵送による配布、郵送又はWEBによる回収での調査

回答方法：①担当の居宅介護支援事業所によるアンケート調査票の提出

②返信用封筒によるアンケート調査票の返送又はWEBによる回答

実施時期：①令和7年10月～12月

②令和7年12月

配布数	回収件数	回収率
1,300件	1,056件（うちweb回答27件）	81.2%

(3) 第2号被保険者向け高齢者福祉と介護保険の事業計画のためのアンケート調査 (以下、「介護保険第2号被保険者向けアンケート調査」という。)

市内在住の40歳から64歳までの方(第2号被保険者)の中から、無作為で抽出した1,300名を対象として、生活状況や生活支援のニーズなどを把握し、今後の高齢者等支援施策の検討に向けた基本資料を得ることを目的に実施した調査

調査方法：郵送による配布、郵送又はWEBによる回収での調査

実施時期：令和7年12月

配布数	回収件数	回収率
1,300件	757件(うちweb回答425件)	58.2%

(4) 在宅生活改善調査

居宅介護支援事業者、小規模多機能型居宅介護事業者を対象に、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を把握することを目的に実施した調査

調査方法：メールによる配布、メール又はFAXによる回収での調査

実施時期：令和7年11月～令和8年1月

配布数	回収件数	回収率
36件	28件	77.8%

(5) 居所変更実態調査

介護施設等の事業者を対象に、過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由を把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討することを目的に実施した調査

調査方法：メールによる配布、メール又はFAXによる回収での調査

実施時期：令和7年11月～令和8年1月

配布数	回収件数	回収率
34件	30件	88.2%

(6) 介護人材実態調査

介護事業者を対象に、介護人材の実態を把握することにより、介護人材の確保に向けた必要な取組等を検討することを目的に実施した調査

調査方法：メールによる配布、メール又はFAXによる回収での調査

実施時期：令和7年11月～令和8年1月

配布数	回収件数	回収率
85件	66件	77.6%

3 圏域別回収率

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び介護保険第2号被保険者向けアンケート調査における圏域（担当地域包括支援センター）ごとの内訳は、以下のとおりです。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では第1圏域、介護保険第2号被保険者向けアンケート調査では第5圏域からの回答が最も多くなっています。

単位：人・%

	第1圏域 (内間木苑)		第2圏域 (つつじの郷)		第3圏域 (モーニング パーク)		第4圏域 (ひいらぎの里)		第5圏域 (朝光苑)		第6圏域 (あさか中央)	
ニーズ調査 (3,405人)	576	17.2	562	16.7	569	16.9	558	16.6	560	16.7	536	15.9
2号調査 (757人)	129	17.1	122	16.2	128	17.0	129	17.1	131	17.4	114	15.1

※ニーズ調査…介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、2号調査…介護保険第2号被保険者向けアンケート調査
※圏域不明の回答者がニーズ調査44人、2号調査4人いるため、各調査の回答数合計と圏域別回答数合計は異なります。

4 集計上の留意点

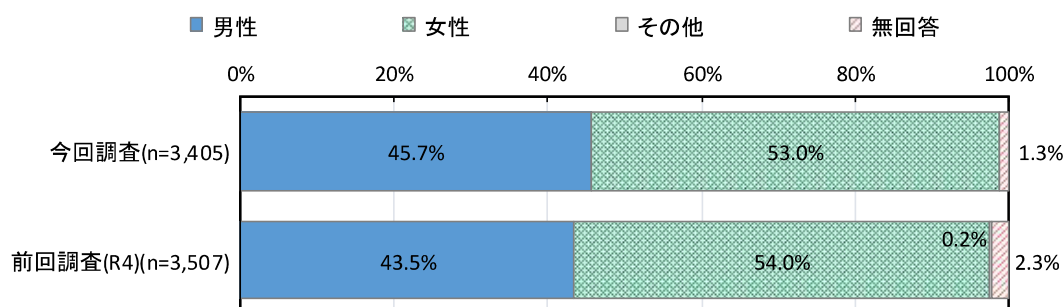
- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、小数第二位を四捨五入している関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

【回答者の属性】

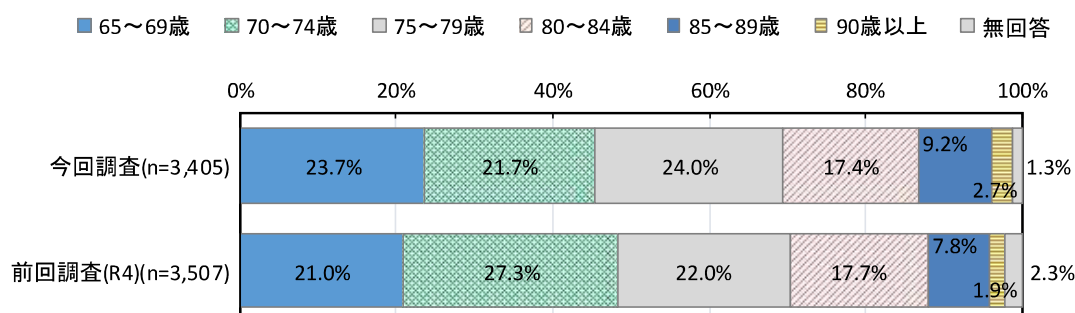
【性別】

全体では、「男性」45.7%、「女性」53.0%となっている。



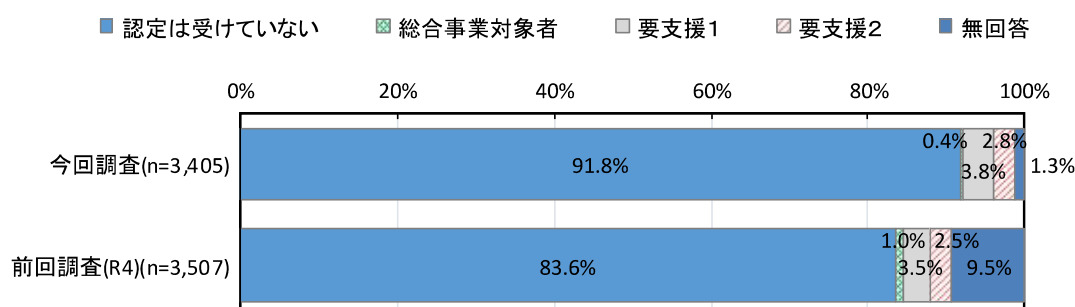
【年齢】

全体では、「75～79 歳」24.0%が最も高く、次いで「65～69 歳」23.7%、「70～74 歳」21.7%となっている。



【要支援認定】

全体では、「認定は受けていない」91.8%が最も高く、次いで「要支援1」3.8%、「要支援2」2.8%となっている。



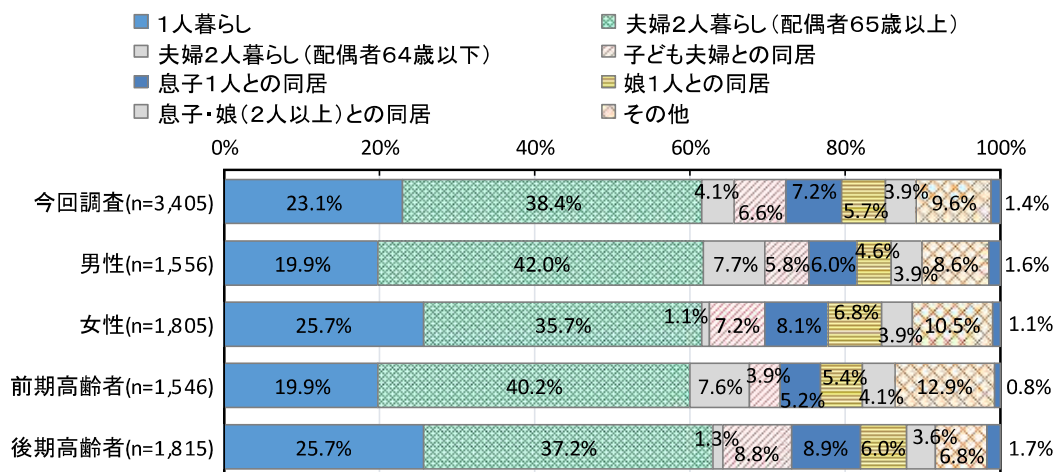
問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください。(1つを選択)

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」38.4%が最も高く、次いで「1人暮らし」23.1%、「その他」9.6%となっている。

男女別でみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合は男性42.0%、女性35.7%と男性が女性を6.3ポイント上回る。

年代別でみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合は前期高齢者40.2%、後期高齢者37.2%と最も高くなっている。



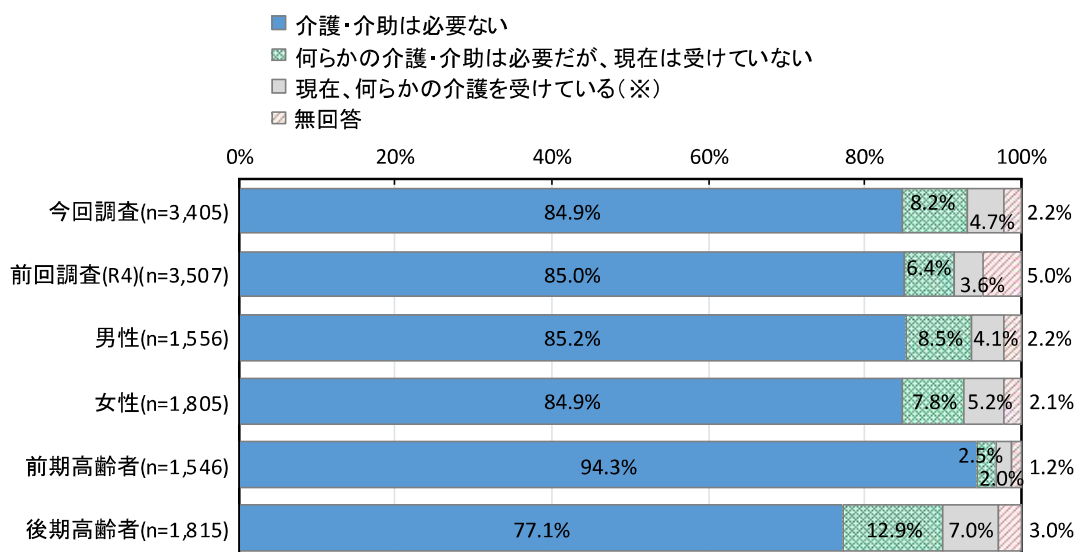
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つを選択)

全体では、「介護・介助は必要ない」84.9%が最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」8.2%、「現在、何らかの介護を受けている」4.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「介護・介助は必要ない」の割合は前期高齢者94.3%、後期高齢者77.1%と前期高齢者が後期高齢者を17.2ポイント上回る。



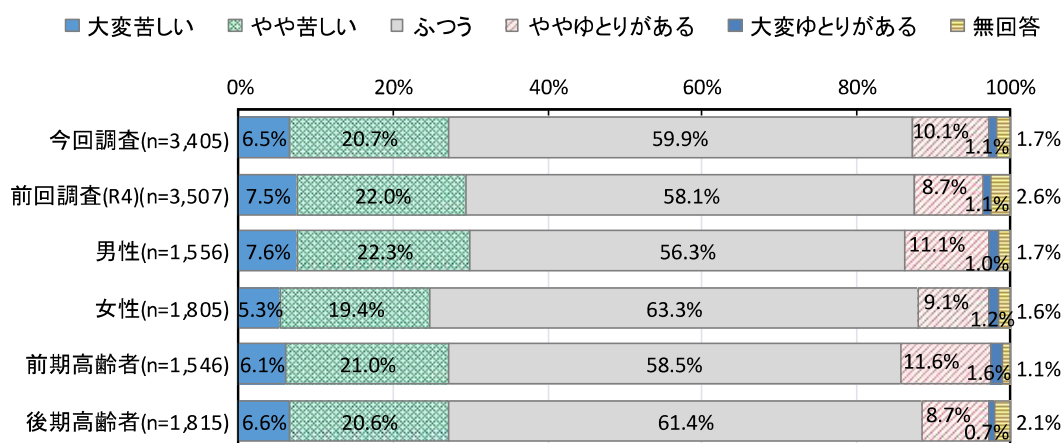
※現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む。)

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つを選択)

全体では、「ふつう」59.9%が最も高く、次いで「やや苦しい」20.7%、「ややゆとりがある」10.1%となっている。『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）の割合は27.2%を占める。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『苦しい』の割合は男性29.9%、女性24.7%と男性が女性を5.2ポイント上回る。年代別でみると、『苦しい』の割合は前期高齢者27.1%、後期高齢者27.2%となっている。



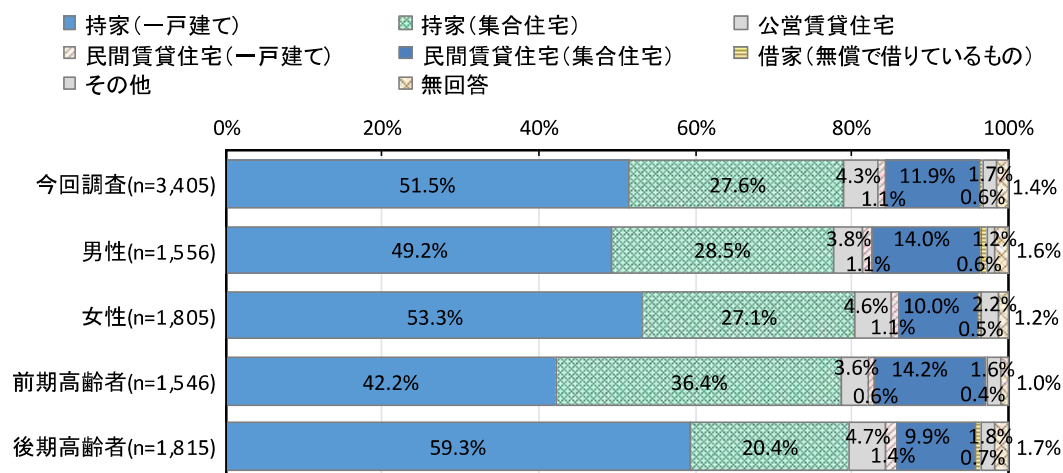
(4)あなたのお住まいは、次のうちどれですか。(1つを選択)

全体では、「持家（一戸建て）」51.5%が最も高く、次いで「持家（集合住宅）」27.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」11.9%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「持家（一戸建て）」の割合は前期高齢者42.2%、後期高齢者59.3%と後期高齢者が前期高齢者を17.1ポイント上回る。



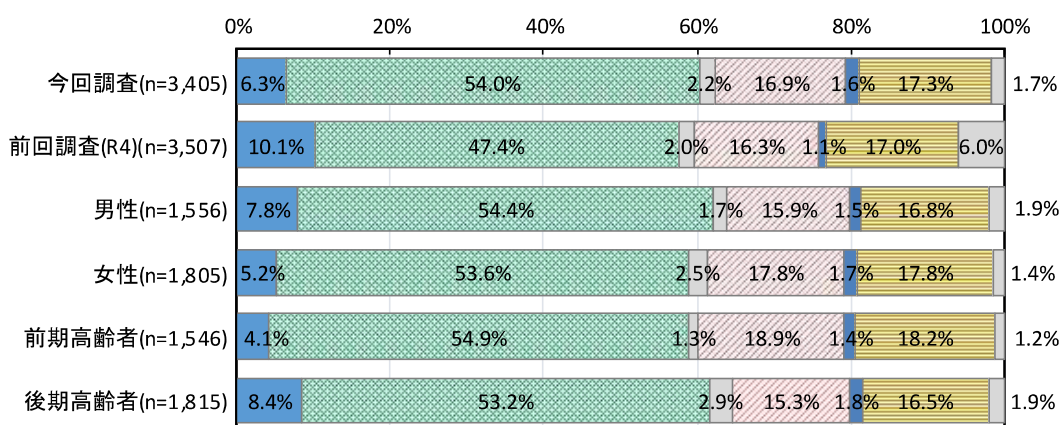
(5)あなたが介護を必要とする状態となった場合に、どのような生活を希望しますか。(1つを選択)

全体では、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」54.0%が最も高く、次いで「わからない」17.3%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい」16.9%となっている。

前回調査と比較すると、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」は6.6ポイント増加している。

男女別、年代別でみると、大きな差異はみられない。

- 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい
- 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい
- 現在の住まいで、公的サービス以外のボランティア等の支援を受けて生活したい
- 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい
- その他
- わからない
- 無回答



問2 からだを動かすことについて

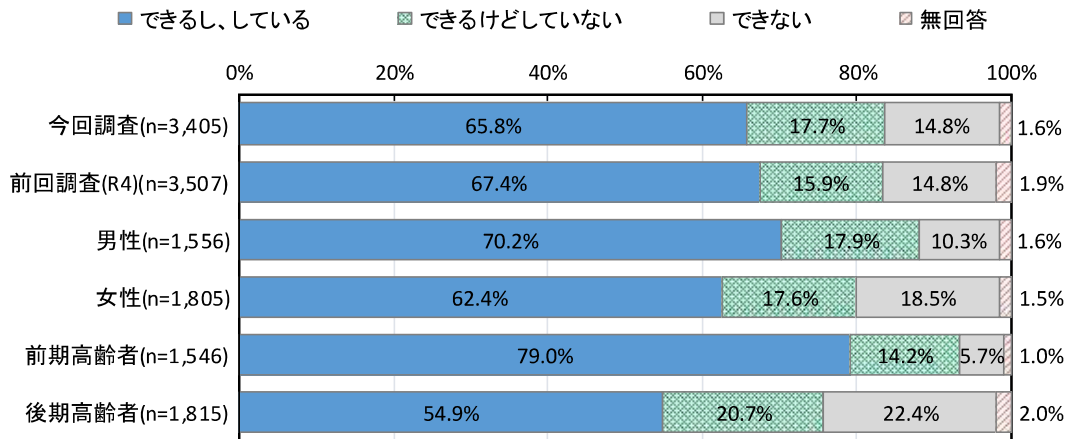
(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」65.8%が最も高く、次いで「できるけどしていない」17.7%、「できない」14.8%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「できるし、している」の割合は男性70.2%、女性62.4%と男性が女性を7.8ポイント上回る。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者79.0%、後期高齢者54.9%と前期高齢者が後期高齢者を24.1ポイントと大きく上回る。



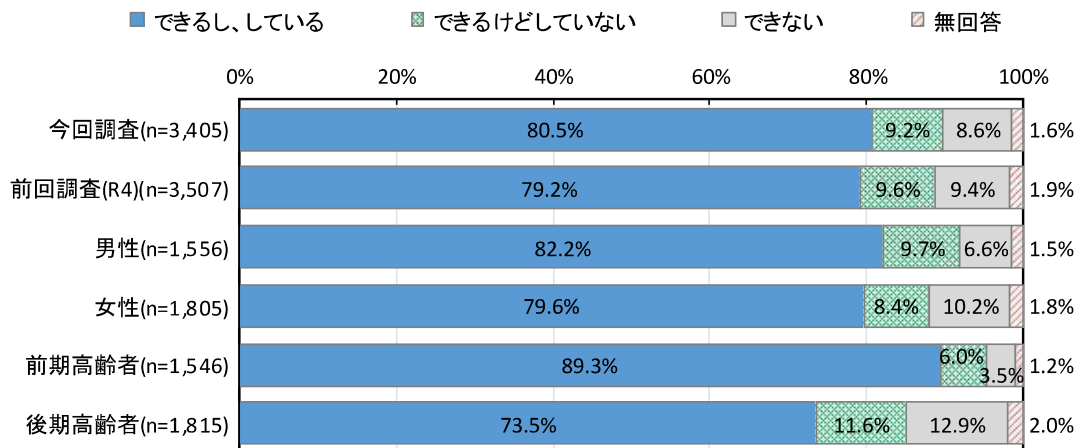
(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」80.5%が最も高く、次いで「できるけどしていない」9.2%、「できない」8.6%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者89.3%、後期高齢者73.5%と前期高齢者が後期高齢者を15.8ポイントと大きく上回る。



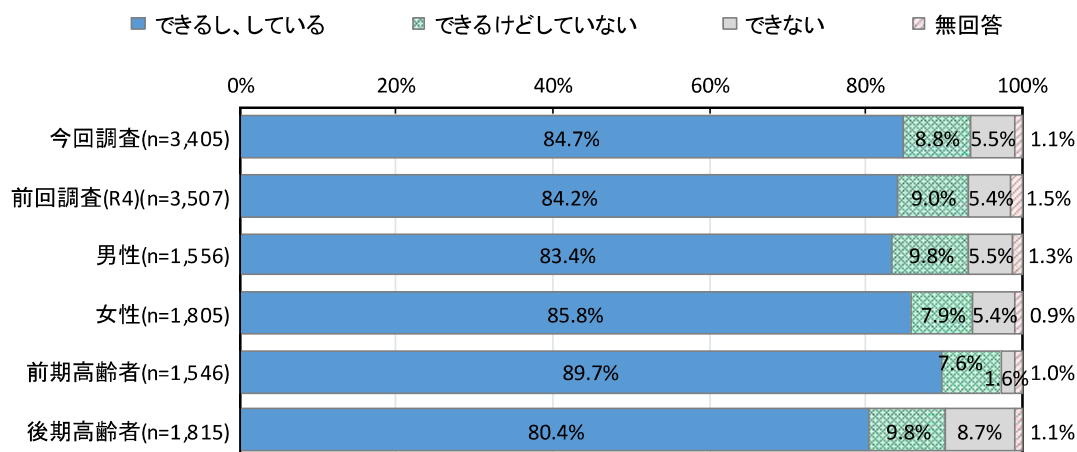
(3)15分位続けて歩いていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」84.7%が最も高く、次いで「できるけどしていない」8.8%、「できない」5.5%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者 89.7%、後期高齢者 80.4%と前期高齢者が後期高齢者を 9.3 ポイント上回る。



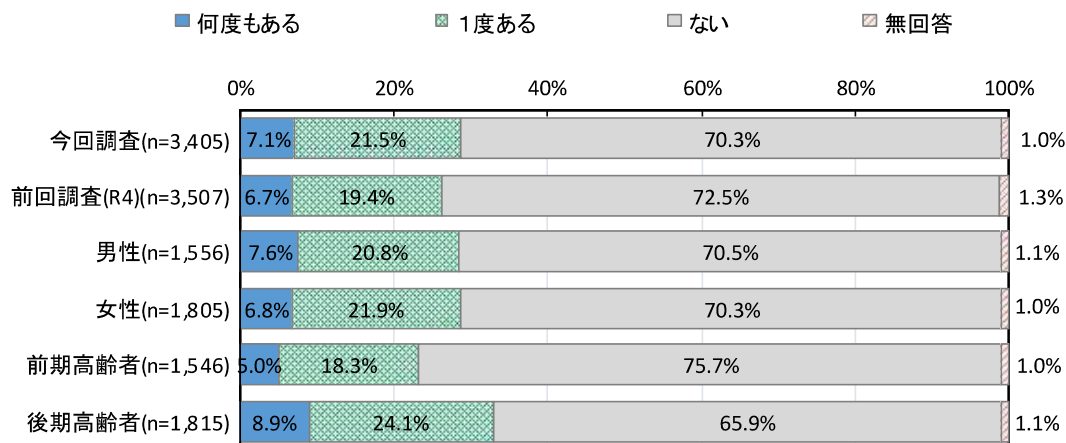
(4)過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つを選択)

全体では、「ない」70.3%が最も高く、次いで「1度ある」21.5%、「何度もある」7.1%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「ない」の割合は前期高齢者 75.7%、後期高齢者 65.9%と前期高齢者が後期高齢者を 9.8 ポイント上回る。



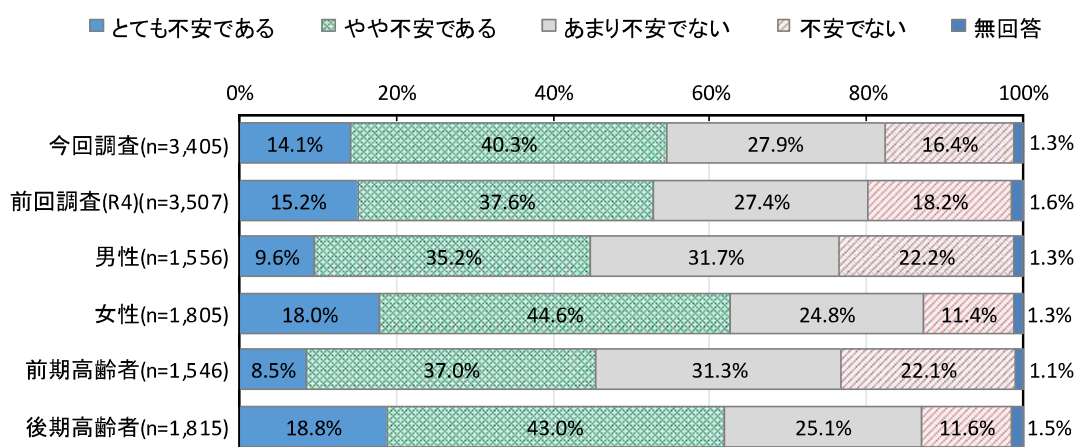
(5)転倒に対する不安は大きいですか。(1つを選択)

全体では、「やや不安である」40.3%が最も高く、次いで「あまり不安でない」27.9%、「不安でない」16.4%となっている。『不安である』（「とても不安である」＋「やや不安である」）の割合は54.4%を占める。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『不安である』の割合は男性44.8%、女性62.6%で女性が男性を17.8ポイントと大きく上回る。

年代別でみると、『不安である』の割合は前期高齢者45.5%、後期高齢者61.8%で後期高齢者が前期高齢者を16.3ポイントと大きく上回る。



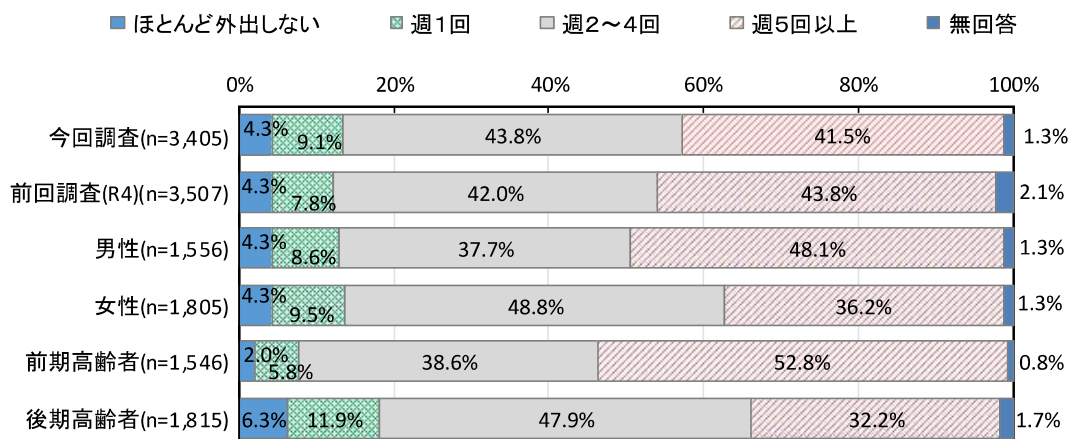
(6)週に1回以上は外出していますか。(1つを選択)

全体では、「週2～4回」43.8%が最も高く、次いで「週5回以上」41.5%、「週1回」9.1%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『週2回以上』（「週2～4回」＋「週5回以上」）の割合は男性85.8%、女性85.0%といずれも8割以上を占める。

年代別でみると、『週2回以上』の割合は前期高齢者91.4%、後期高齢者80.1%と前期高齢者が後期高齢者を11.3ポイント上回る。



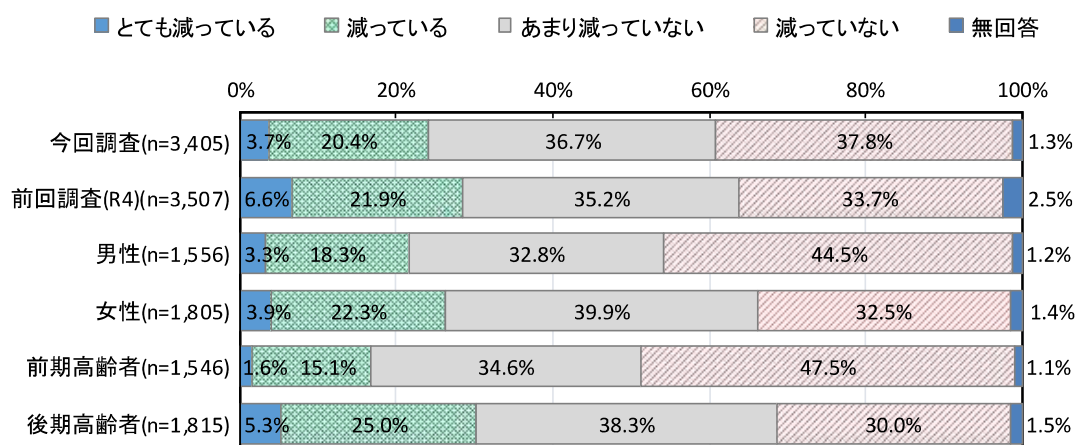
(7)昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つを選択)

全体では、「減っていない」37.8%が最も高く、次いで「あまり減っていない」36.7%、「減っている」20.4%となっている。『減っている』（「とても減っている」＋「減っている」）の割合は24.1%を占める。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『減っている』の割合は男性21.6%、女性26.2%と女性がやや高くなっている。

年代別でみると、『減っている』の割合は前期高齢者16.7%、後期高齢者30.3%と前期高齢者が後期高齢者を13.6ポイント上回る。



(8)外出する際の主な移動手段は何ですか。(複数選択可)

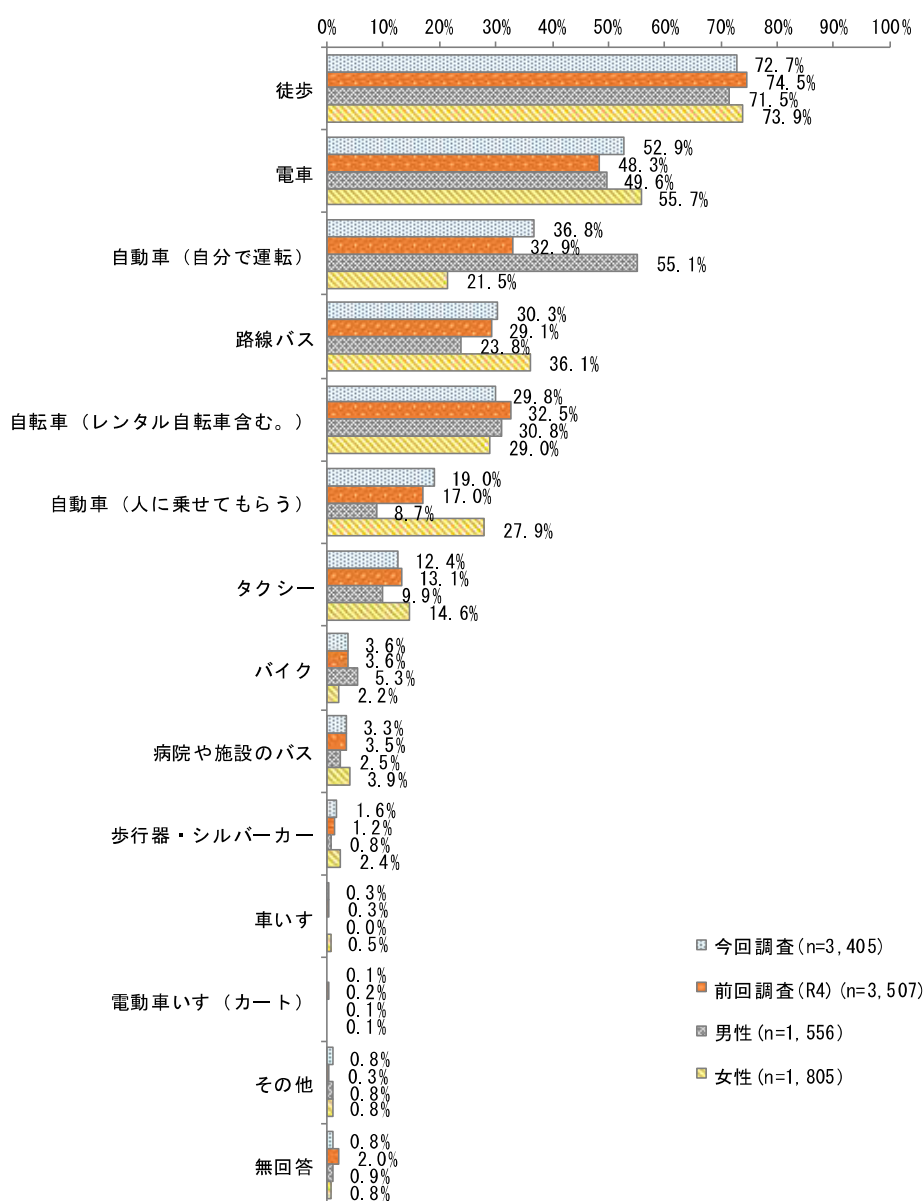
全体では、「徒歩」72.7%が最も高く、次いで「電車」52.9%、「自動車（自分で運転）」36.8%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

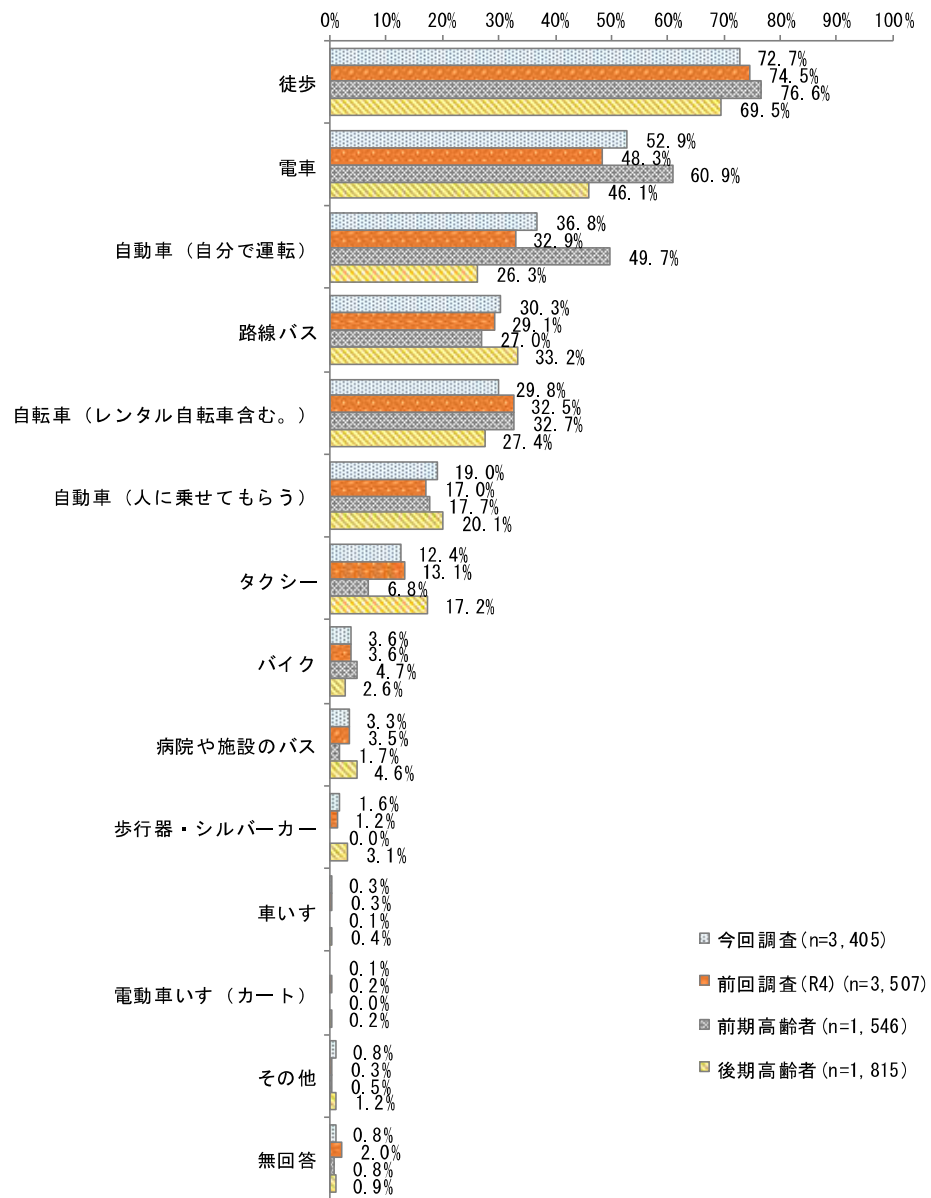
男女別でみると、「自動車（自分で運転）」では男性が女性を33.6ポイントと大きく上回る。一方で、「電車」、「路線バス」、「自動車（人に乗せてもらう）」ではいずれも女性が男性を上回り、「自動車（人に乗せてもらう）」は19.2ポイント高くなっている。

年代別でみると、「徒歩」、「電車」、「自動車（自分で運転）」、「自転車（レンタル自転車含む。）」ではいずれも前期高齢者が後期高齢者を上回り、特に「自動車（自分で運転）」では23.4ポイント高くなっている。一方で、「タクシー」では10.4ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【外出時の主な移動手段（男女別）】



【外出時の主な移動手段（年代別）】



問3 食べることについて

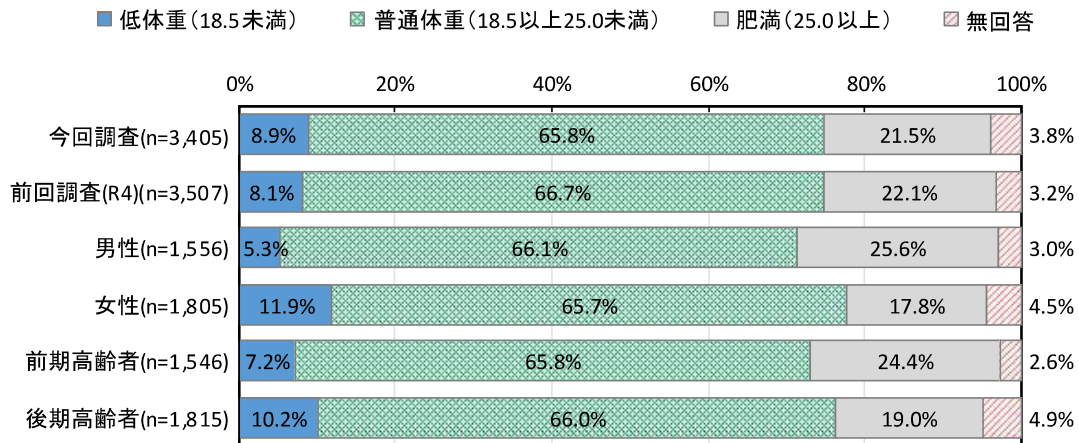
(1)現在のあなたの身長・体重を教えてください。

身長及び体重から算出したBMIについて全体では、「普通体重（18.5以上25.0未満）」65.8%が最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」21.5%、「低体重（18.5未満）」8.9%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「低体重（18.5未満）」の割合は男性5.3%、女性11.9%と女性が男性を6.6ポイント上回る。

年代別でみると、「肥満（25.0以上）」の割合は前期高齢者24.4%、後期高齢者19.0%と前期高齢者が後期高齢者を5.4ポイント上回る。



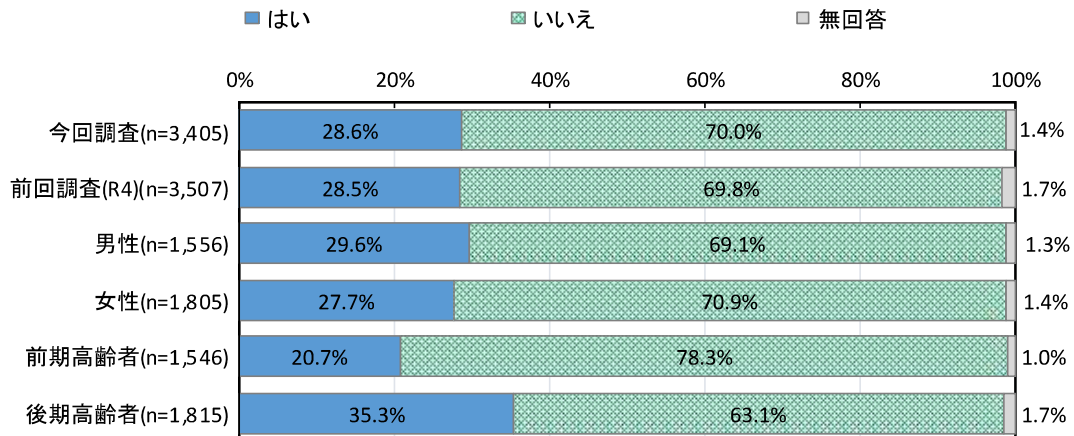
(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」28.6%、「いいえ」70.0%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「はい」の割合は前期高齢者20.7%、後期高齢者35.3%と後期高齢者が前期高齢者を14.6ポイント上回る。

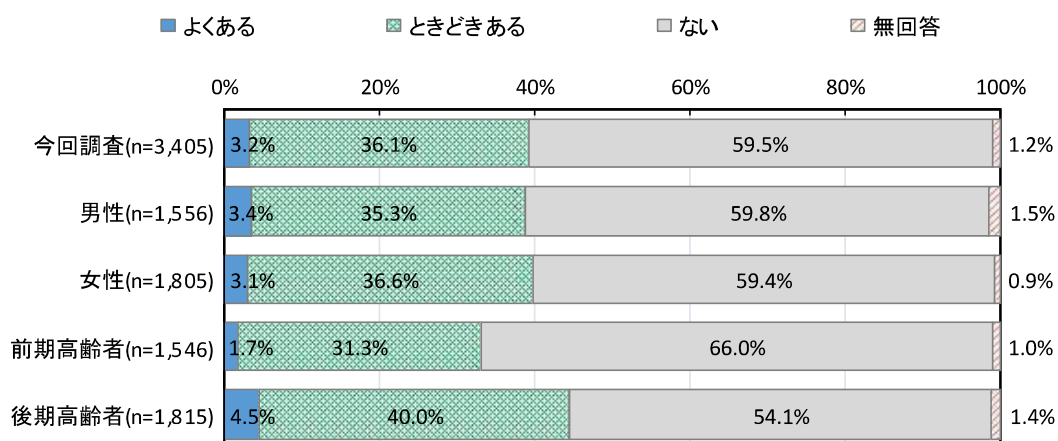


(3)お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つを選択)

全体では、「ない」59.5%が最も高く、次いで「ときどきある」36.1%、「よくある」3.2%となっている。『ある』（「よくある」＋「ときどきある」）の割合は39.3%を占める。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、『ある』の割合は前期高齢者33.0%、後期高齢者44.5%と後期高齢者が前期高齢者を11.5ポイント上回る。

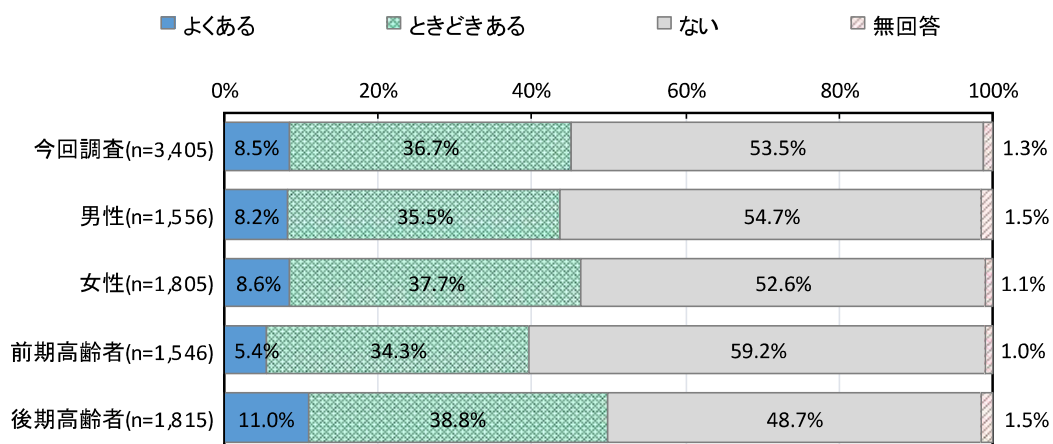


(4)口の渇きが気になりますか。(1つを選択)

全体では、「ない」53.5%が最も高く、次いで「ときどきある」36.7%、「よくある」8.5%となっている。『ある』（「よくある」＋「ときどきある」）の割合は45.2%を占める。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、『ある』の割合は前期高齢者39.7%、後期高齢者49.8%と後期高齢者が前期高齢者を10.1ポイント上回る。



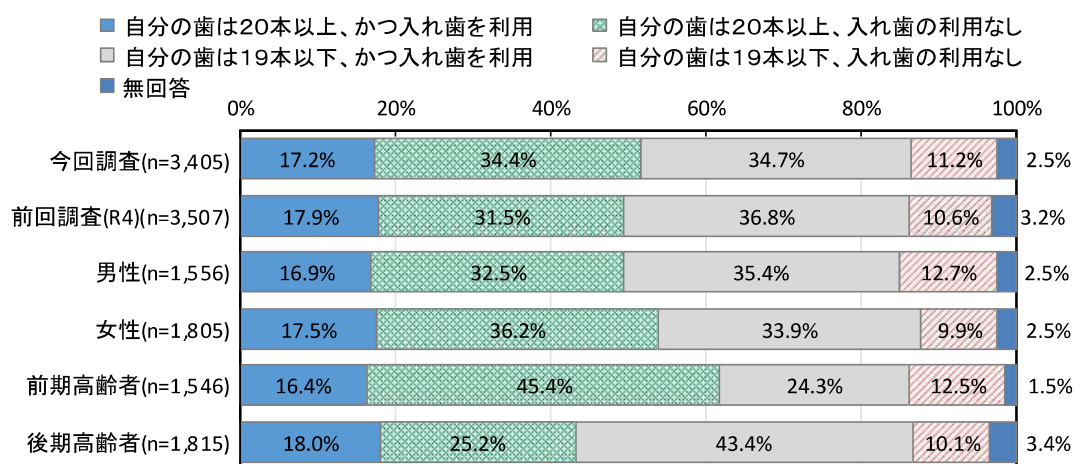
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つを選択)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」34.7%が最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」34.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」17.2%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

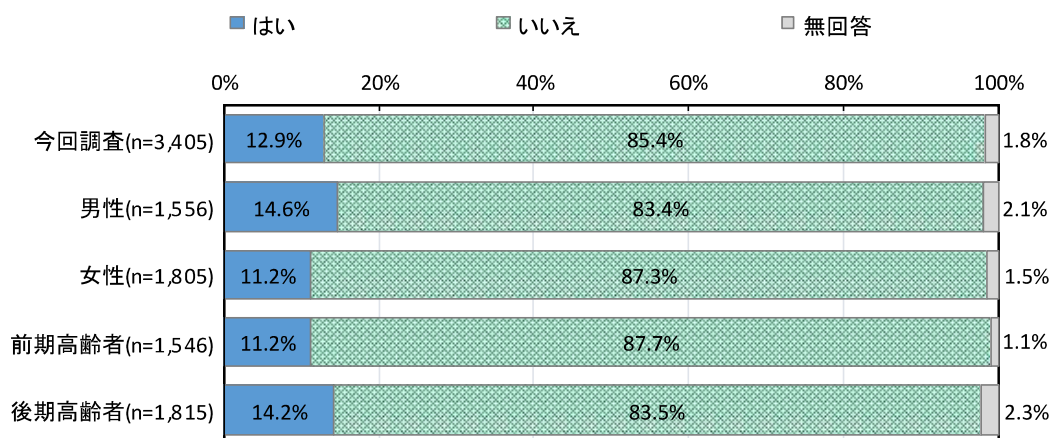
年代別でみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合は前期高齢者が後期高齢者を20.2ポイント上回る一方で、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は後期高齢者が前期高齢者より19.1ポイント高くなっている。



(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」12.9%、「いいえ」85.4%となっている。

男女別、年代別でみると、大きな差異はみられない。



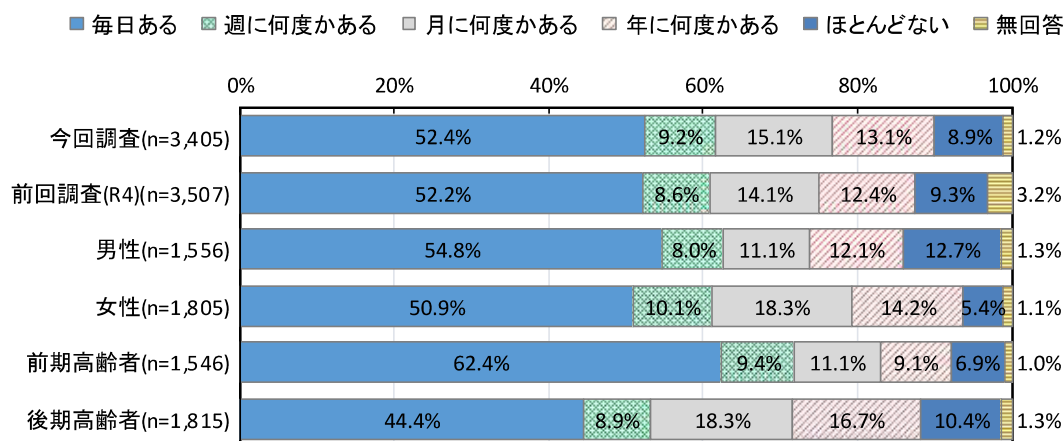
(7)どなたかと食事を共にする機会がありますか。(1つを選択)

全体では、「毎日ある」52.4%が最も高く、次いで「月に何度かある」15.1%、「年に何度かある」13.1%となっている。『ある』（「毎日ある」＋「週に何度かある」＋「月に何度かある」＋「年に何度かある」）の割合は89.8%を占める。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『ある』の割合は男性86.0%、女性93.5%と女性が男性を7.5ポイント上回る。

年代別でみると、『ある』の割合は前期高齢者92.0%、後期高齢者88.3%と前期高齢者がやや高くなっている。



問4 毎日の生活について

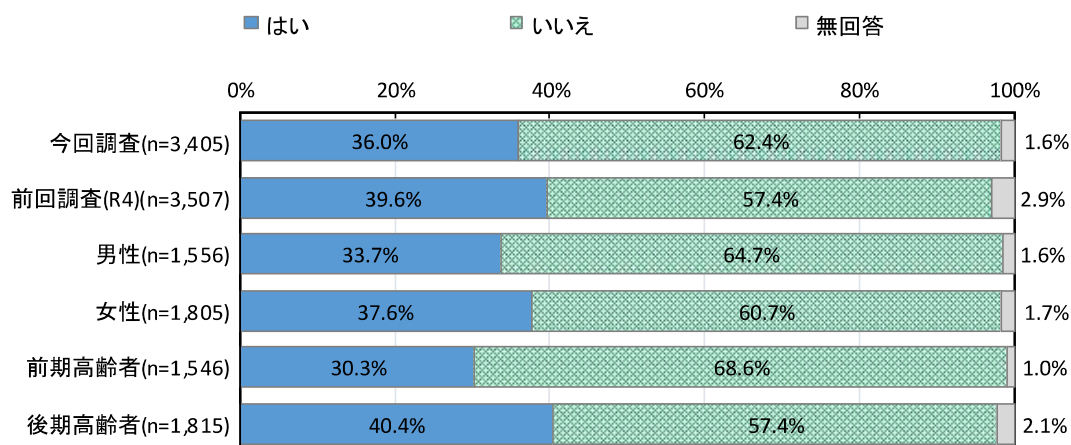
(1)物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)

全体では、「はい」36.0%、「いいえ」62.4%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」は5.0ポイント増加している。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「はい」の割合は前期高齢者30.3%、後期高齢者40.4%と後期高齢者が前期高齢者を10.1ポイント上回る。



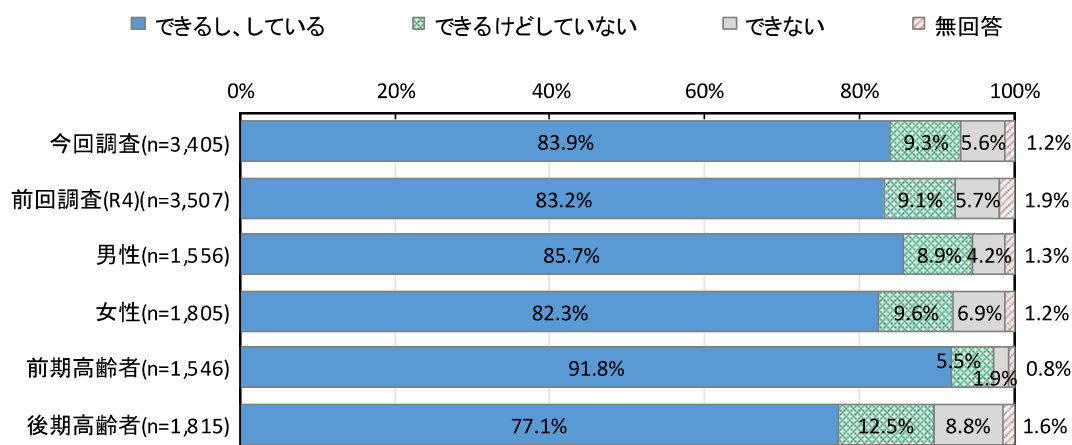
(2)バスや電車、自家用車などを使って、1人で外出していますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」83.9%が最も高く、次いで「できるけどしていない」9.3%、「できない」5.6%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者 91.8%、後期高齢者 77.1%と前期高齢者が後期高齢者を 14.7 ポイント上回る。



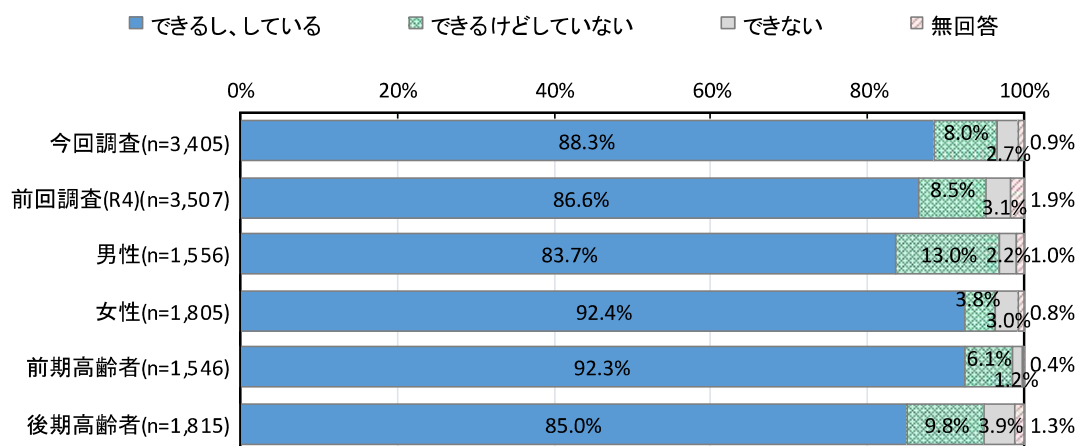
(3)自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」88.3%が最も高く、次いで「できるけどしていない」8.0%、「できない」2.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「できるし、している」の割合は男性 83.7%、女性 92.4%と女性が男性を 8.7 ポイント上回る。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者 92.3%、後期高齢者 85.0%と前期高齢者が後期高齢者を 7.3 ポイント上回る。



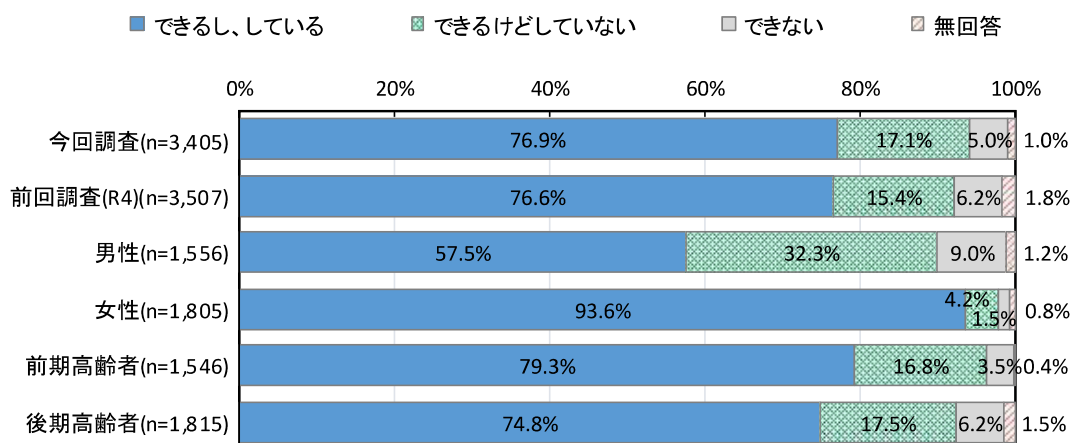
(4)自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」76.9%が最も高く、次いで「できるけどしていない」17.1%、「できない」5.0%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「できるし、している」の割合は男性 57.5%、女性 93.6%と女性が男性を 36.1 ポイントと大きく上回る。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者 79.3%、後期高齢者 74.8%と前期高齢者がやや高くなっている。



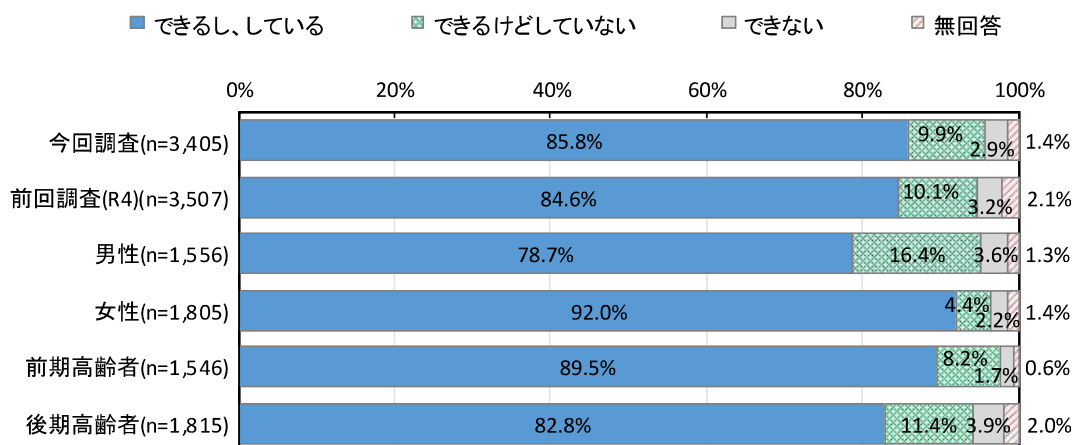
(5)自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」85.8%が最も高く、次いで「できるけどしていない」9.9%、「できない」2.9%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「できるし、している」の割合は男性 78.7%、女性 92.0%と女性が男性を 13.3 ポイント上回る。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者 89.5%、後期高齢者 82.8%と前期高齢者が後期高齢者を 6.7 ポイント上回る。



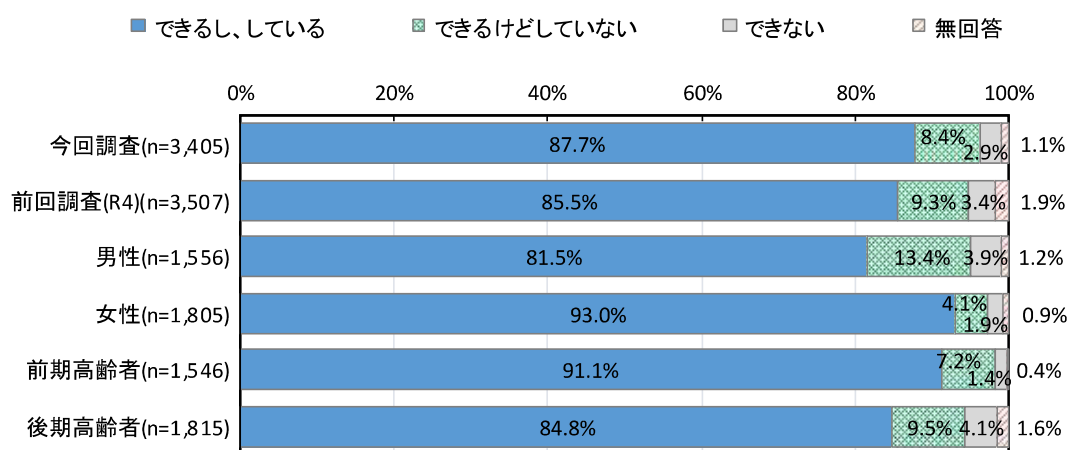
(6)自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」87.7%が最も高く、次いで「できるけどしていない」8.4%、「できない」2.9%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「できるし、している」の割合は男性81.5%、女性93.0%と女性が男性を11.5ポイント上回る。

年代別でみると、「できるし、している」の割合は前期高齢者91.1%、後期高齢者84.8%と前期高齢者が後期高齢者を6.3ポイント上回る。



(7)スマートフォン、パソコンなどで日常的に活用しているものはありますか。(複数選択可)

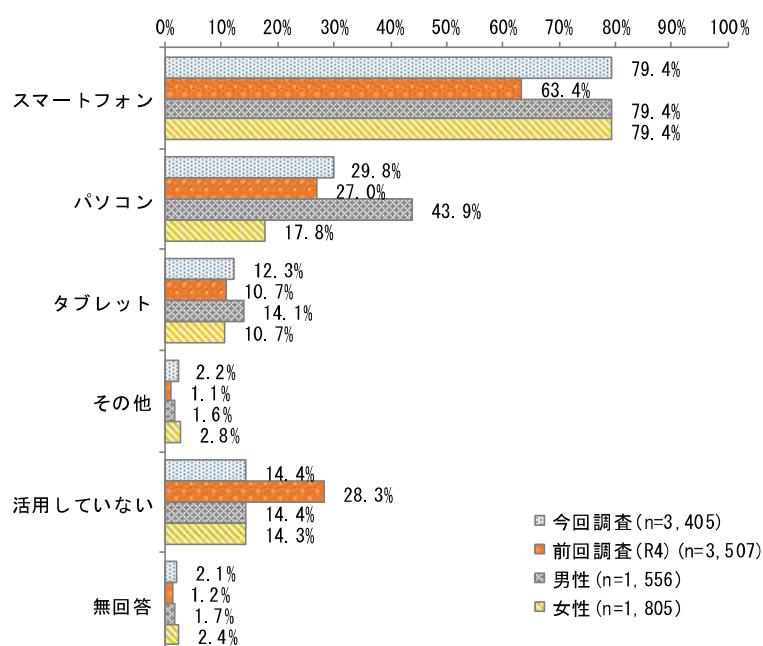
全体では、「スマートフォン」79.4%が最も高く、次いで「パソコン」29.8%、「活用していない」14.4%となっている。

前回調査と比較すると、「活用していない」は13.9ポイント減少している一方で、「スマートフォン」は16.0ポイント増加している。

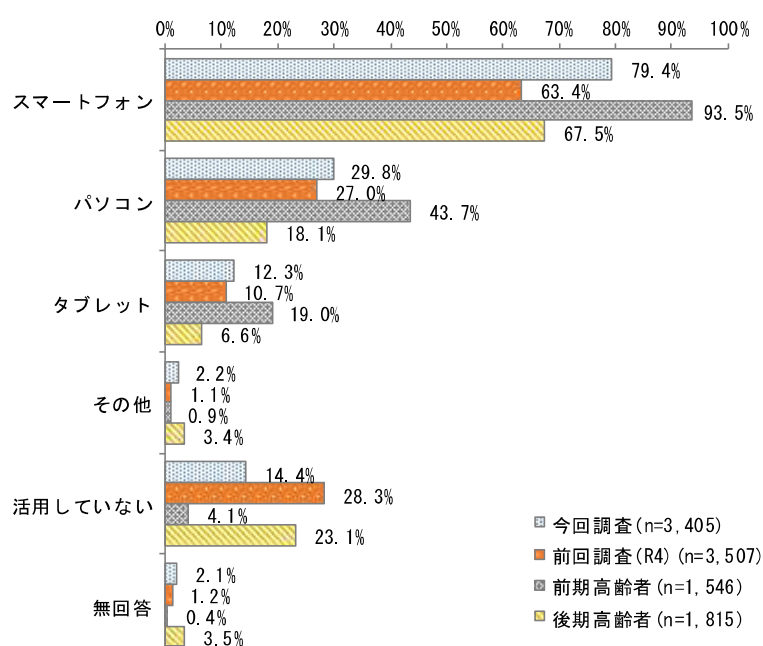
男女別でみると、「パソコン」では男性が女性を26.1ポイント上回る。

年代別でみると、「タブレット」では12.4ポイント、「スマートフォン」では26.0ポイント、「パソコン」では25.6ポイント前期高齢者が後期高齢者より高くなっている。

【日常的に活用している機器(男女別)】



【日常的に活用している機器(年代別)】



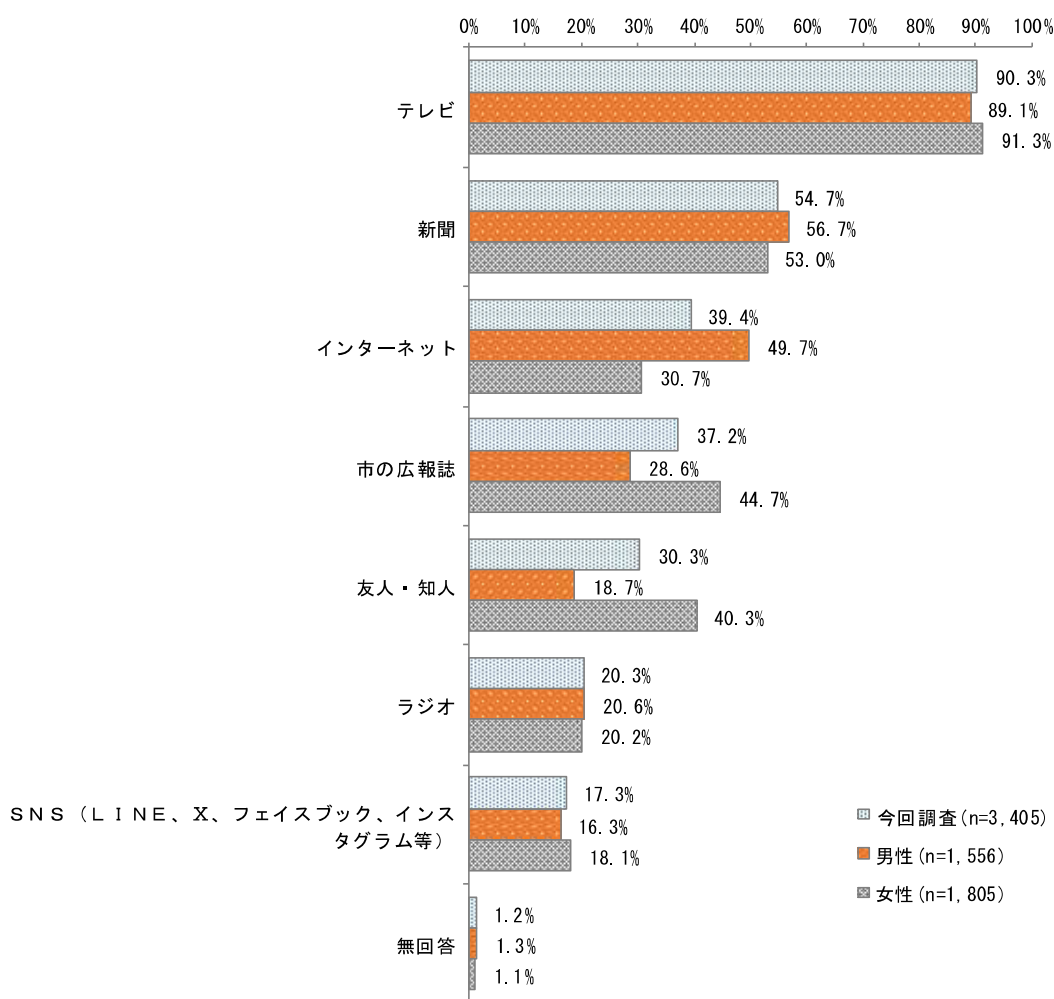
(8)ニュースやイベント等の情報を、何から得ていますか。(複数選択可)

全体では、「テレビ」90.3%が最も高く、次いで「新聞」54.7%、「インターネット」39.4%となっている。

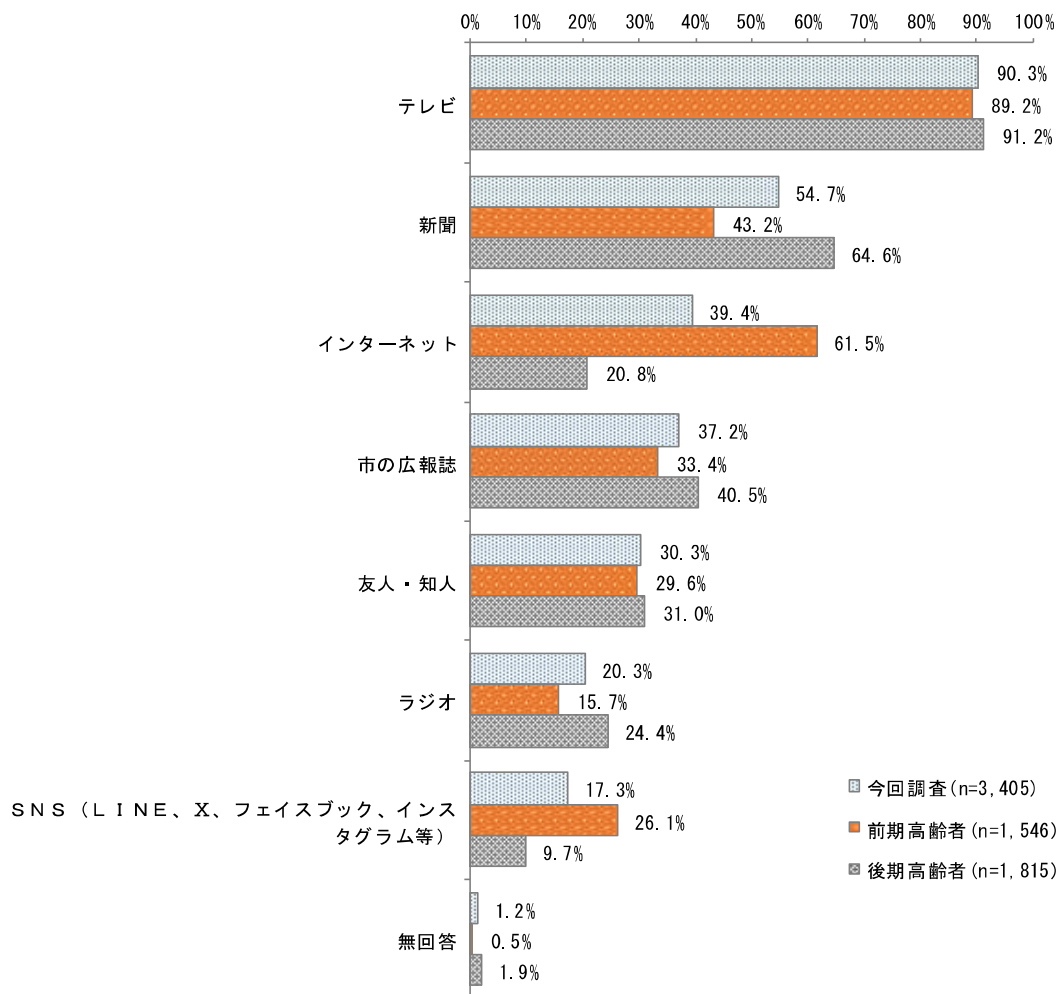
男女別でみると、「市の広報紙」では16.1ポイント、「友人・知人」では21.6ポイント女性が男性を高くなっている。一方で、「インターネット」では男性が女性より19.0ポイント高くなっている。

年代別でみると、「インターネット」では40.7ポイント、「SNS（LINE、X、フェイスブック、インスタグラム等）」では16.4ポイント、前期高齢者が後期高齢者を上回る。一方で、「新聞」では21.4ポイント、「ラジオ」では8.7ポイント、後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【情報の入手先（男女別）】



【情報の入手先（年代別）】



(9)あなた自身の日常生活の中で困っていることはありますか。(複数選択可)

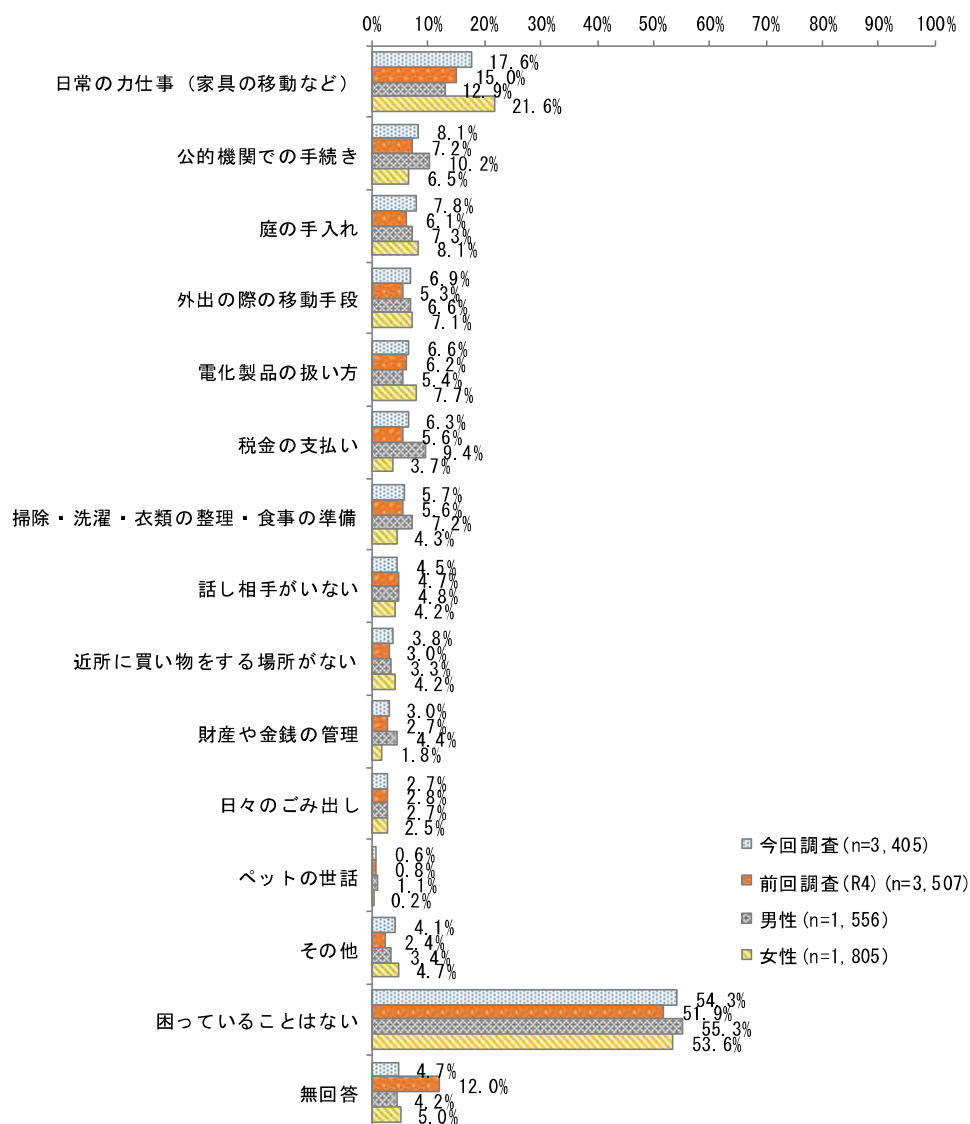
全体では、「困っていることはない」54.3%が最も高く、次いで「日常の力仕事（家具の移動など）」17.6%、「公的機関での手続き」8.1%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

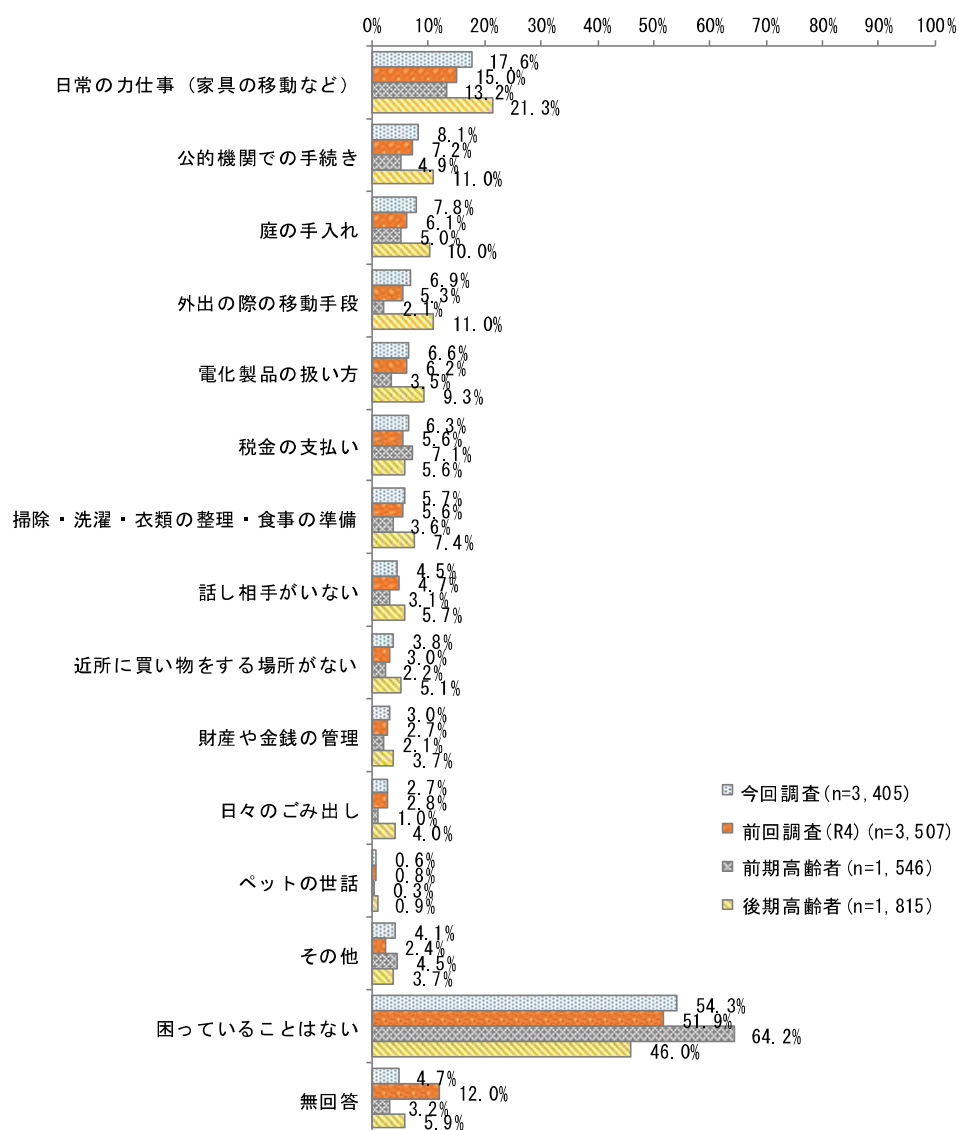
男女別でみると、「日常の力仕事（家具の移動など）」では女性が男性を8.7ポイント上回る。一方で、「税金の支払い」では男性が女性より5.7ポイント高くなっている。

年代別でみると、年代で差がある項目の中でも、「日常の力仕事（家具の移動など）」では8.1ポイント、「外出の際の移動手段」では8.9ポイント後期高齢者が前期高齢者を上回る。

【日常生活で困っていること（男女別）】



【日常生活で困っていること（年代別）】



(10)将来の生活で心配や不安なことはありますか。(複数選択可)

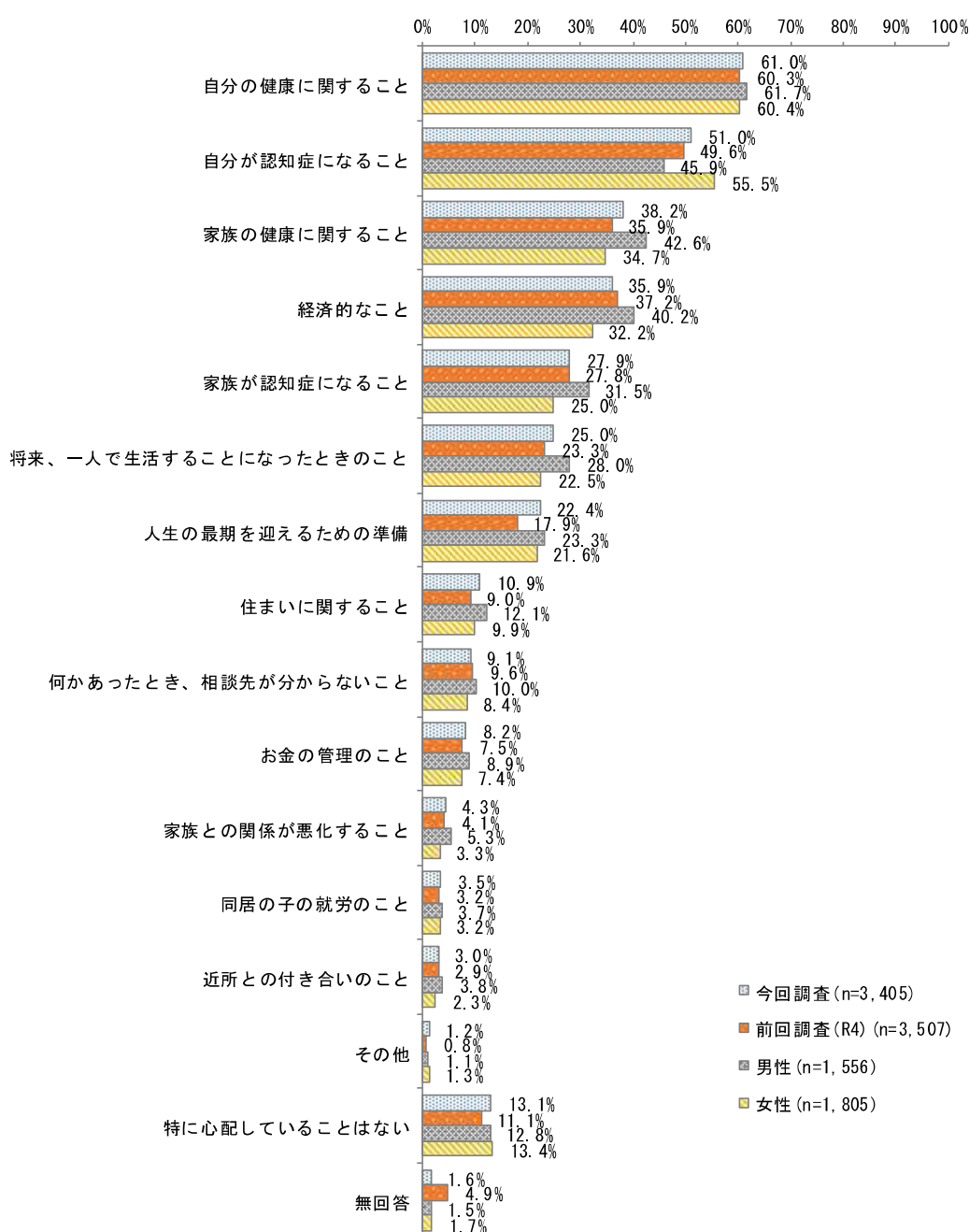
全体では、「自分の健康に関すること」61.0%が最も高く、次いで「自分が認知症になること」51.0%、「家族の健康に関すること」38.2%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

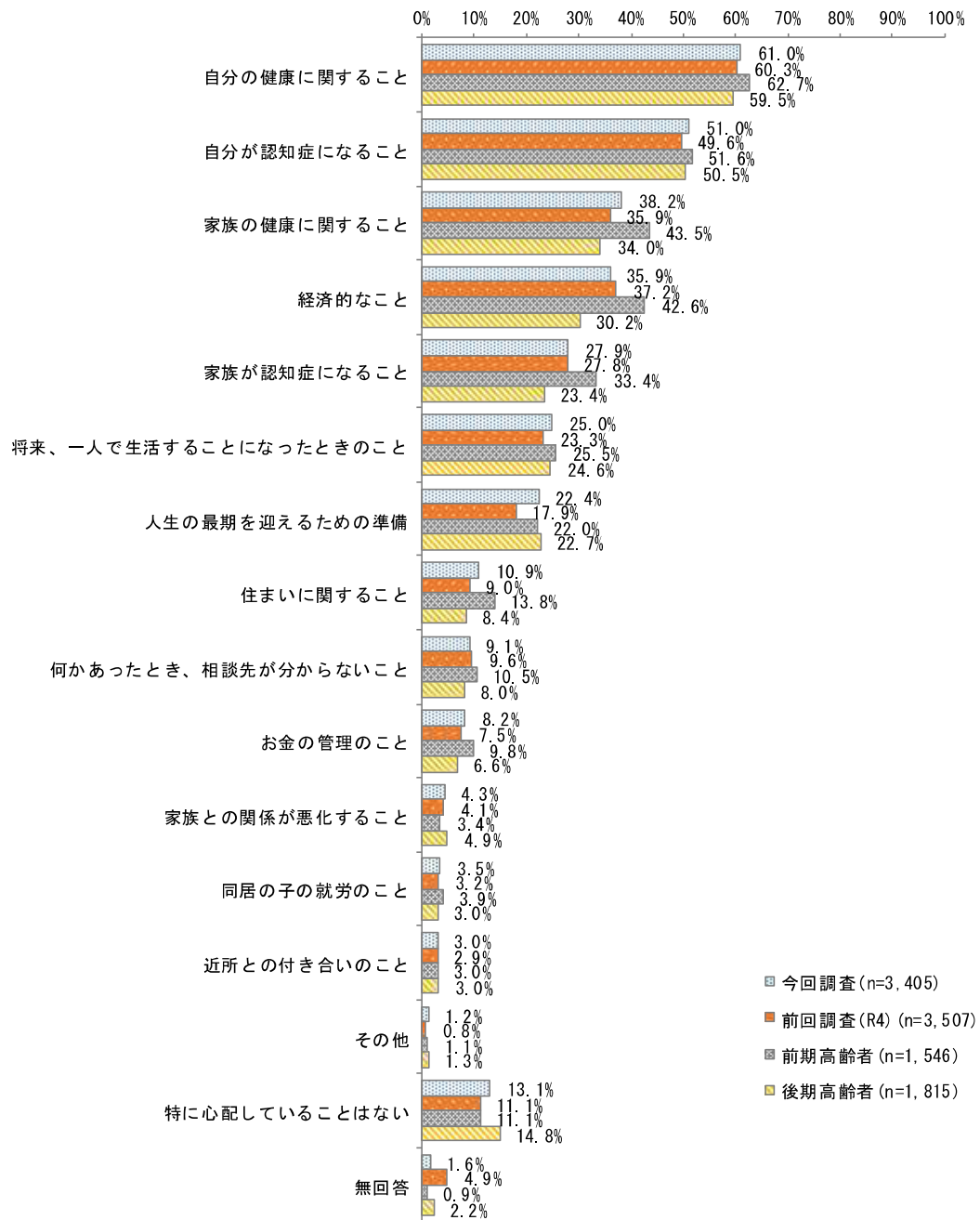
男女別でみると、「家族の健康に関すること」では7.9ポイント、「経済的なこと」では8.0ポイント、「家族が認知症になること」では6.5ポイント、「将来、一人で生活することになったときのこと」では5.5ポイント男性が女性を5.5ポイント以上上回る。一方で、「自分が認知症になること」では女性が男性より9.6ポイント高くなっている。

年代別でみると、「家族の健康に関すること」では9.5ポイント、「経済的なこと」では12.4ポイント、「家族が認知症になること」では10.0ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る。

【将来の生活で心配や不安なこと（男女別）】



【将来の生活で心配や不安なこと（年代別）】



問5 地域の活動について

(1) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。

① ボランティアのグループ（1つを選択）

全体では、「参加していない」83.3%が最も高く、次いで「月1～3回」4.3%、「年に数回」3.1%となっている。『参加している』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）の割合は12.4%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』は7.1ポイント増加している。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性11.8%、女性13.0%となっている。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者8.2%、後期高齢者16.1%と後期高齢者が前期高齢者を7.9ポイント上回る。

単位: 人・%

	人数	参加している					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	0.7	2.4	1.9	4.3	3.1	83.3	4.3
前回調査	3,507	0.3	0.9	0.6	2.2	1.3	51.0	43.7
男性	1,556	0.8	2.0	1.8	3.7	3.5	85.5	2.6
女性	1,805	0.7	2.7	2.1	4.7	2.8	81.3	5.6
前期高齢者	1,546	0.4	1.4	1.1	2.8	2.5	90.3	1.6
後期高齢者	1,815	1.0	3.2	2.7	5.5	3.7	77.3	6.5

② スポーツ関係のグループやクラブ（1つを選択）

全体では、「参加していない」72.5%が最も高く、次いで「週2～3回」8.6%、「週1回」5.8%となっている。『参加している』の割合は24.3%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』は4.8ポイント増加している。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性21.2%、女性27.0%と女性が男性を5.8ポイント上回る。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者25.1%、後期高齢者23.7%となっている。

単位: 人・%

	人数	参加している					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	3.4	8.6	5.8	4.2	2.3	72.5	3.2
前回調査	3,507	2.7	6.6	4.8	3.6	1.8	44.1	36.5
男性	1,556	3.0	5.5	4.2	5.0	3.5	76.5	2.2
女性	1,805	3.8	11.2	7.0	3.7	1.3	69.0	3.9
前期高齢者	1,546	3.7	8.7	5.3	5.4	2.0	74.2	0.8
後期高齢者	1,815	3.1	8.5	6.1	3.4	2.6	71.1	5.2

③趣味関係のグループ（１つを選択）

全体では、「参加していない」70.1%が最も高く、次いで「月１～３回」11.3%、「週１回」5.3%となっている。『参加している』の割合は26.6%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』では大きな差異はみられない。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性24.9%、女性28.2%と女性がやや高くなっている。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者25.0%、後期高齢者28.1%と後期高齢者がやや高くなっている。

単位：人・%

	人数	参加している					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	0.9	3.9	5.3	11.3	5.2	70.1	3.1
前回調査	3,507	1.4	4.3	4.7	9.8	3.9	42.0	33.8
男性	1,556	0.7	3.7	4.0	8.9	7.6	72.9	2.2
女性	1,805	1.2	4.2	6.1	13.4	3.3	67.9	3.9
前期高齢者	1,546	0.6	3.0	4.3	10.9	6.2	73.8	1.2
後期高齢者	1,815	1.3	4.8	5.8	11.7	4.5	67.2	4.7

④学習・教養サークル（１つを選択）

全体では、「参加していない」86.8%が最も高く、次いで「月１～３回」3.7%、「年に数回」2.9%となっている。『参加している』の割合は9.4%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』では大きな差異はみられない。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性7.0%、女性11.7%と女性がやや高くなっている。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者8.8%、後期高齢者10.0%となっている。

単位：人・%

	人数	参加している					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	0.3	0.9	1.6	3.7	2.9	86.8	3.8
前回調査	3,507	0.2	0.7	1.3	2.5	1.6	49.7	43.9
男性	1,556	0.3	0.8	0.8	2.1	3.0	90.1	2.8
女性	1,805	0.3	1.1	2.2	5.2	2.9	83.8	4.6
前期高齢者	1,546	0.4	0.8	1.4	3.2	3.0	90.1	1.1
後期高齢者	1,815	0.2	1.0	1.7	4.2	2.9	83.9	6.1

⑤介護予防のための通いの場（１つを選択）

全体では、「参加していない」88.8%が最も高く、次いで「週１回」2.7%、「週２～３回」2.0%となっている。『参加している』の割合は8.1%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』は4.9ポイント増加している。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性6.2%、女性9.8%と女性がやや高くなっている。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者3.8%、後期高齢者11.6%と後期高齢者が前期高齢者を7.8ポイント上回る。

単位:人・%

	人数	参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	1.1	2.0	2.7	1.4	0.9	88.8	3.1
前回調査	3,507	0.3	0.5	1.5	0.6	0.3	52.1	44.7
男性	1,556	0.9	1.5	2.0	0.8	1.0	91.3	2.5
女性	1,805	1.4	2.3	3.3	1.9	0.9	86.7	3.5
前期高齢者	1,546	0.6	1.1	0.8	0.7	0.6	95.0	1.1
後期高齢者	1,815	1.6	2.6	4.2	2.0	1.2	83.6	4.7

⑥シニアクラブ（１つを選択）

全体では、「参加していない」91.4%が最も高く、次いで「月１～３回」2.2%、「週１回」0.9%となっている。『参加している』の割合は4.7%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』では大きな差異はみられない。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性3.8%、女性5.5%となっている。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者1.8%、後期高齢者7.1%と後期高齢者が前期高齢者を5.3ポイント上回る。

単位:人・%

	人数	参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	0.1	0.7	0.9	2.2	0.8	91.4	3.8
前回調査	3,507	0.4	0.3	0.3	1.5	0.7	52.5	44.3
男性	1,556	0.1	1.1	0.8	1.2	0.6	92.9	3.3
女性	1,805	0.2	0.4	1.1	2.9	0.9	90.0	4.4
前期高齢者	1,546	0.0	0.3	0.2	1.0	0.3	96.3	1.9
後期高齢者	1,815	0.3	1.0	1.5	3.1	1.2	87.2	5.6

⑦町内会・自治会（１つを選択）

全体では、「参加していない」78.6%が最も高く、次いで「年に数回」13.7%、「月１～３回」3.2%となっている。『参加している』の割合は17.8%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』は5.6ポイント増加している。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性18.5%、女性17.1%となっている。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者16.4%、後期高齢者18.8%となっている。

単位：人・%

	人数	参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	0.2	0.4	0.3	3.2	13.7	78.6	3.7
前回調査	3,507	0.6	0.4	0.4	2.1	8.7	45.1	42.9
男性	1,556	0.3	0.4	0.3	3.9	13.6	78.8	2.8
女性	1,805	0.1	0.3	0.3	2.5	13.9	78.3	4.5
前期高齢者	1,546	0.0	0.0	0.1	2.7	13.6	81.7	1.9
後期高齢者	1,815	0.3	0.7	0.5	3.5	13.8	75.9	5.2

⑧収入のある仕事（１つを選択）

全体では、「参加していない」66.6%が最も高く、次いで「週４回以上」17.4%、「週２～３回」8.7%となっている。『参加している』の割合は30.1%を占める。

前回調査と比較すると、『参加している』は5.5ポイント増加している。

男女別でみると、『参加している』の割合は男性36.7%、女性24.7%と男性が女性を12.0ポイント上回る。

年代別でみると、『参加している』の割合は前期高齢者46.9%、後期高齢者16.1%で前期高齢者が後期高齢者を30.8ポイントと大きく上回る。

単位：人・%

	人数	参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
今回調査	3,405	17.4	8.7	0.8	1.8	1.4	66.6	3.3
前回調査	3,507	13.2	7.6	1.2	1.6	1.0	38.1	37.2
男性	1,556	22.3	9.5	1.0	2.1	1.8	60.8	2.5
女性	1,805	13.2	8.2	0.7	1.5	1.1	71.1	4.2
前期高齢者	1,546	29.0	12.9	1.2	2.2	1.6	51.8	1.4
後期高齢者	1,815	7.5	5.3	0.6	1.4	1.3	78.7	5.1

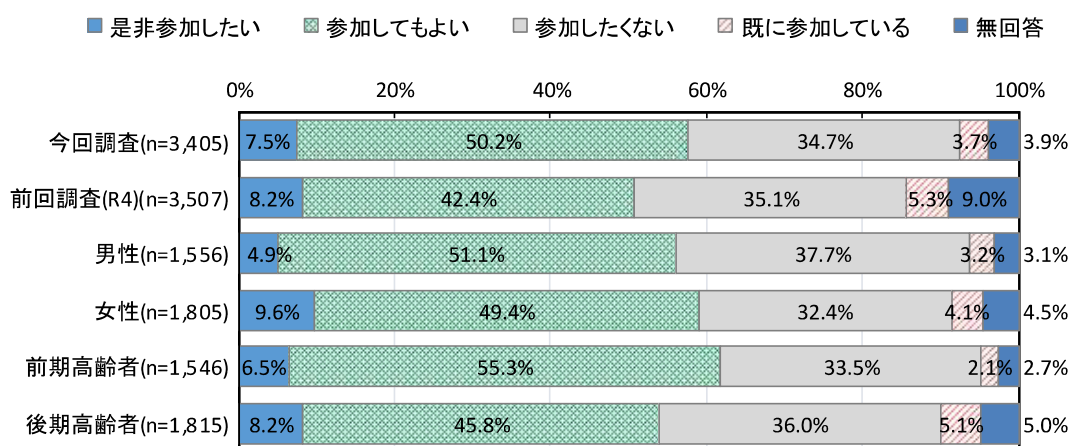
(2)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(1つを選択)

全体では、「参加してもよい」50.2%が最も高く、次いで「参加したくない」34.7%、「是非参加したい」7.5%となっている。『参加意欲がある』（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）の割合は57.7%を占める。

前回調査と比較すると、『参加意欲がある』は7.1ポイント増加している。

男女別でみると、『参加意欲がある』の割合は男性56.0%、女性59.0%と女性がやや高くなっている。

年代別でみると、『参加意欲がある』の割合は前期高齢者61.8%、後期高齢者54.0%と前期高齢者が後期高齢者を7.8ポイント上回る。



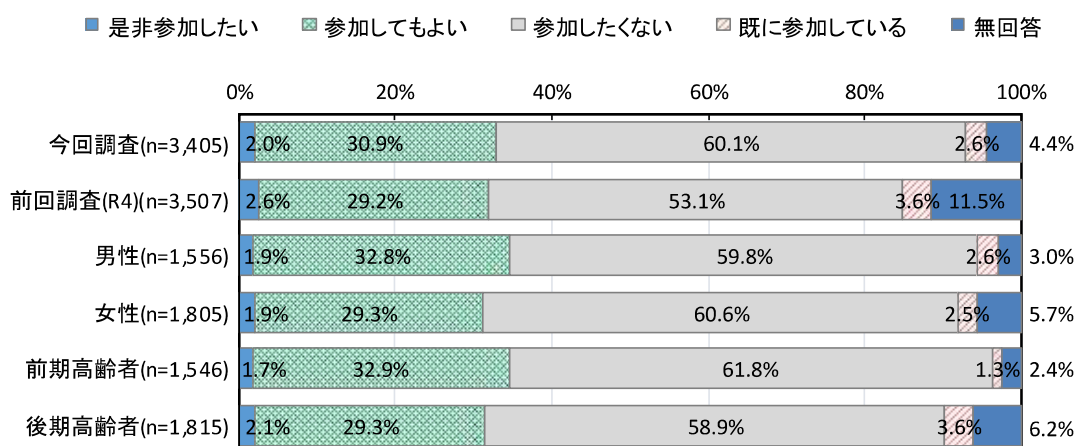
(3)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

全体では、「参加したくない」60.1%が最も高く、次いで「参加してもよい」30.9%、「既に参加している」2.6%となっている。『参加意欲がある』の割合は32.9%を占める。

前回調査と比較すると、『参加意欲がある』に大きな差異はないものの、「参加したくない」は7.0ポイント増加している。

男女別でみると、『参加意欲がある』の割合は男性34.7%、女性31.2%と男性がやや高くなっている。

年代別でみると、『参加意欲がある』の割合は前期高齢者34.6%、後期高齢者31.4%と前期高齢者がやや高くなっている。



問6 たすけあいについて

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(複数選択可)

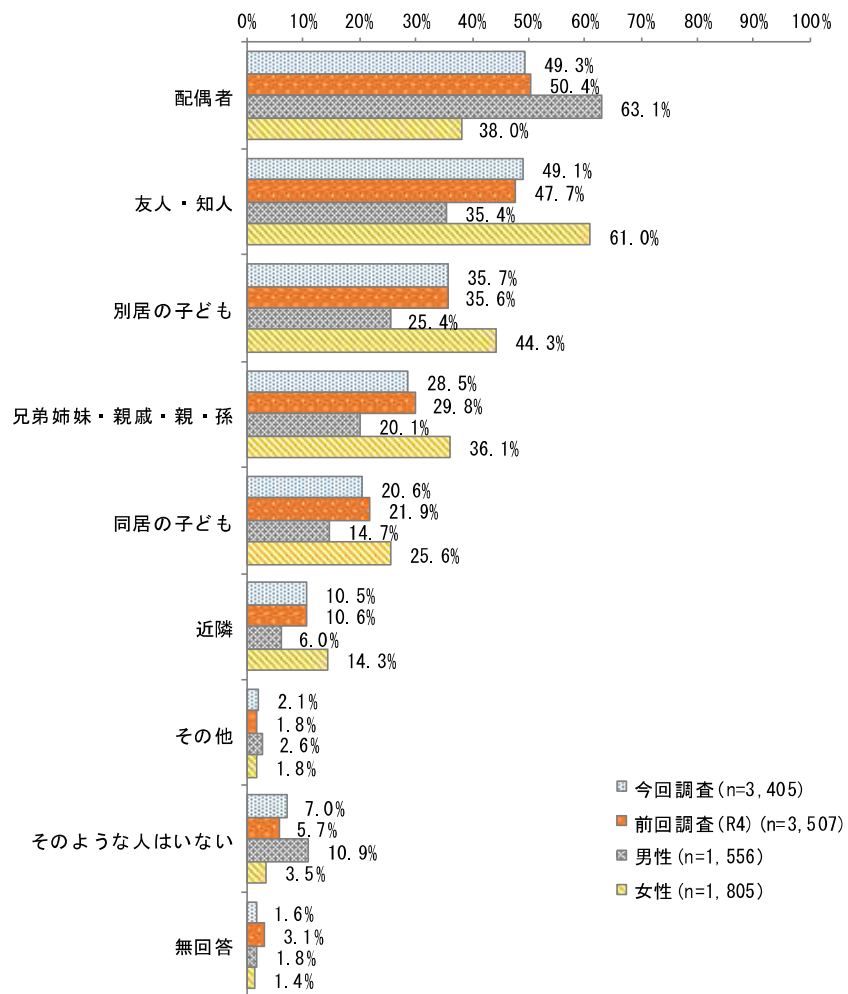
全体では、「配偶者」49.3%が最も高く、次いで「友人・知人」49.1%、「別居の子ども」35.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

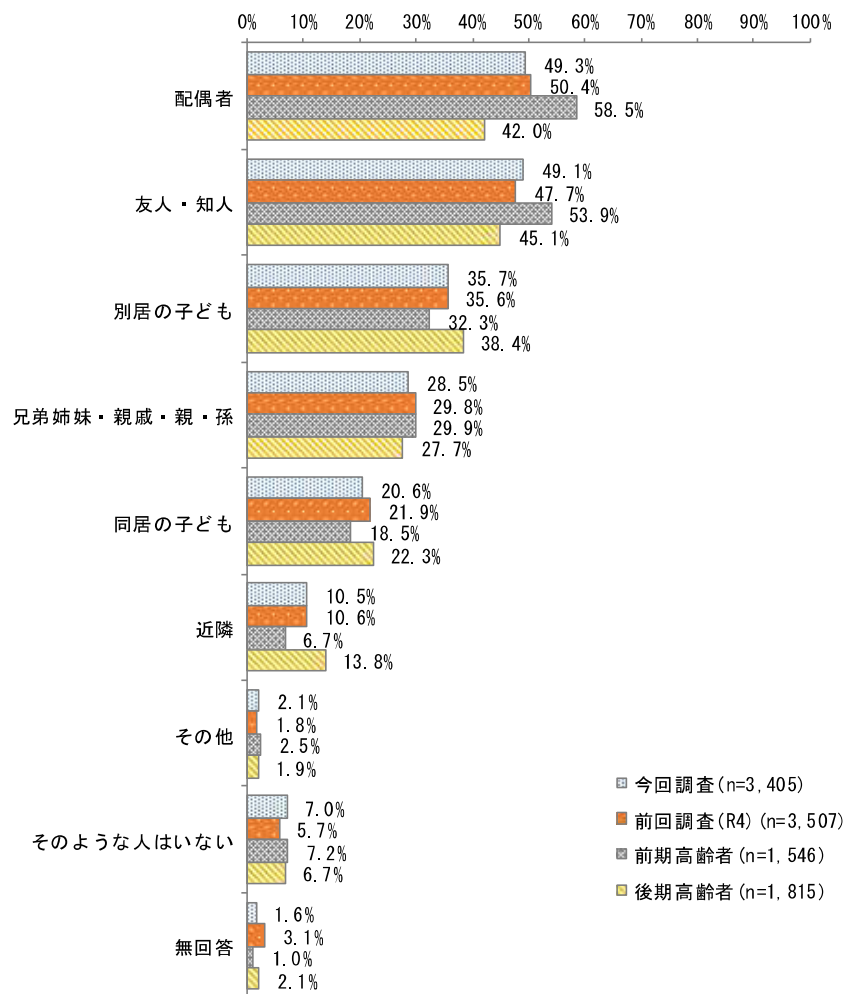
男女別でみると、女性が男性を上回る項目が多くみられる一方で、「配偶者」では25.1ポイント、「そのような人はいない」では7.4ポイント男性が女性を上回る。

年代別でみると、「配偶者」では16.5ポイント、「友人・知人」では8.8ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る一方で、「別居の子ども」では6.1ポイント、「近隣」では7.1ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無（男女別）】



【心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無（年代別）】



(2)あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいいますか。(複数選択可)

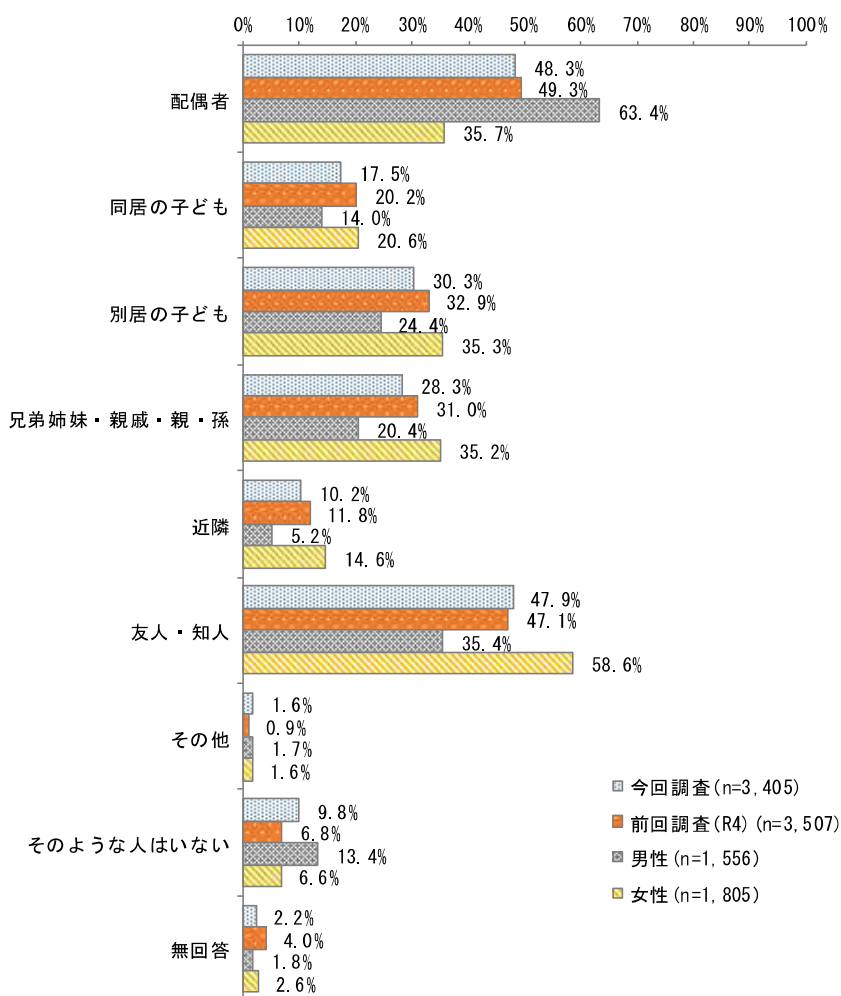
全体では、「配偶者」48.3%が最も高く、次いで「友人・知人」47.9%、「別居の子ども」30.3%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

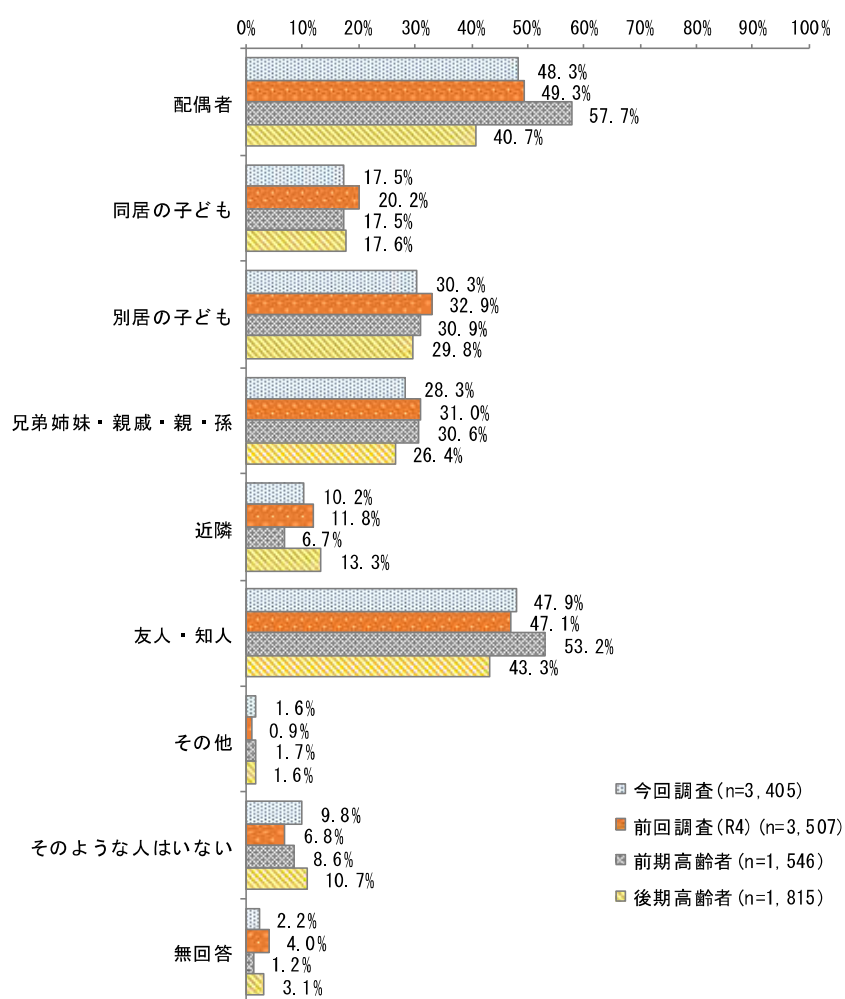
男女別でみると、女性が男性を上回る項目が多くみられる一方で、「配偶者」では27.7ポイント、「そのような人はいない」では6.8ポイント、男性が女性より高くなっている。

年代別でみると、「配偶者」では17.0ポイント、「友人・知人」では9.9ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る一方で、「近隣」では6.6ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人の有無（男女別）】



【心配事や愚痴を聞いてあげる人の有無（年代別）】



(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(複数選択可)

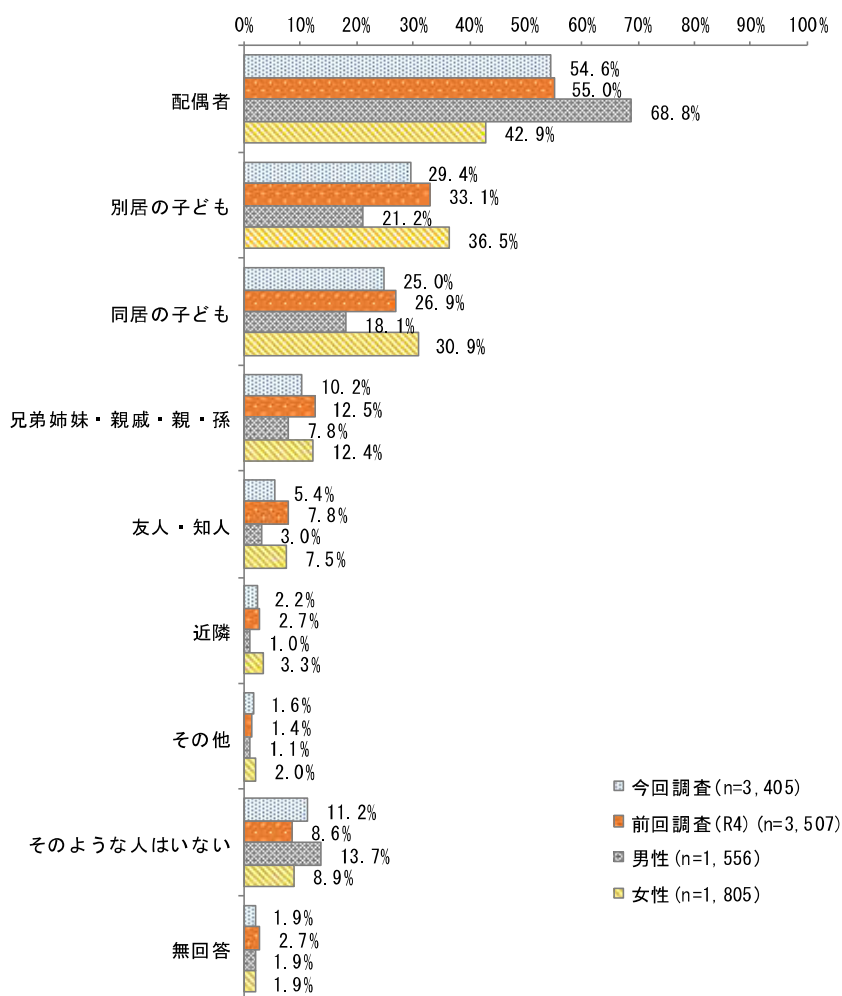
全体では、「配偶者」54.6%が最も高く、次いで「別居の子ども」29.4%、「同居の子ども」25.0%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

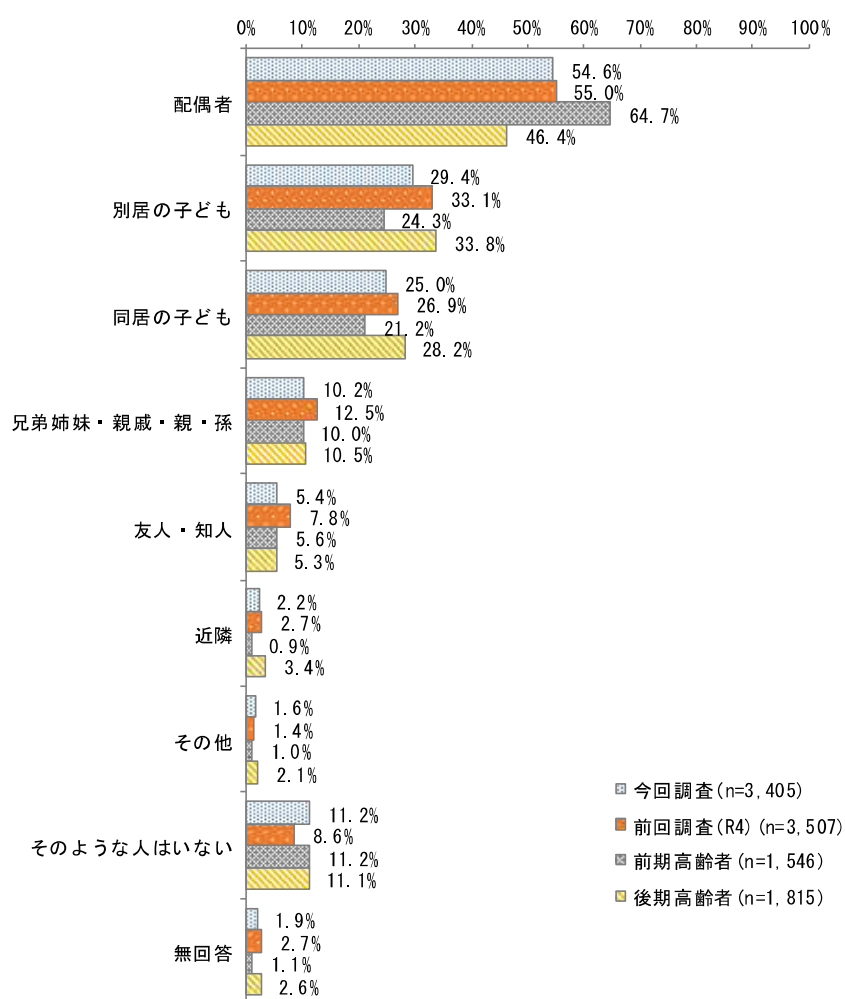
男女別でみると、「配偶者」では男性が女性を25.9ポイントと大きく上回る。一方で、「別居の子ども」では15.3ポイント、「同居の子ども」では12.8ポイント女性が男性を上回る。

年代別でみると、「配偶者」では18.3ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る一方で、「別居の子ども」では9.5ポイント、「同居の子ども」では7.0ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【看病や世話をしてくれる人の有無（男女別）】



【看病や世話をしてくれる人の有無（年代別）】



(4)あなたが看病や世話をしあげられる人はいますか。(複数選択可)

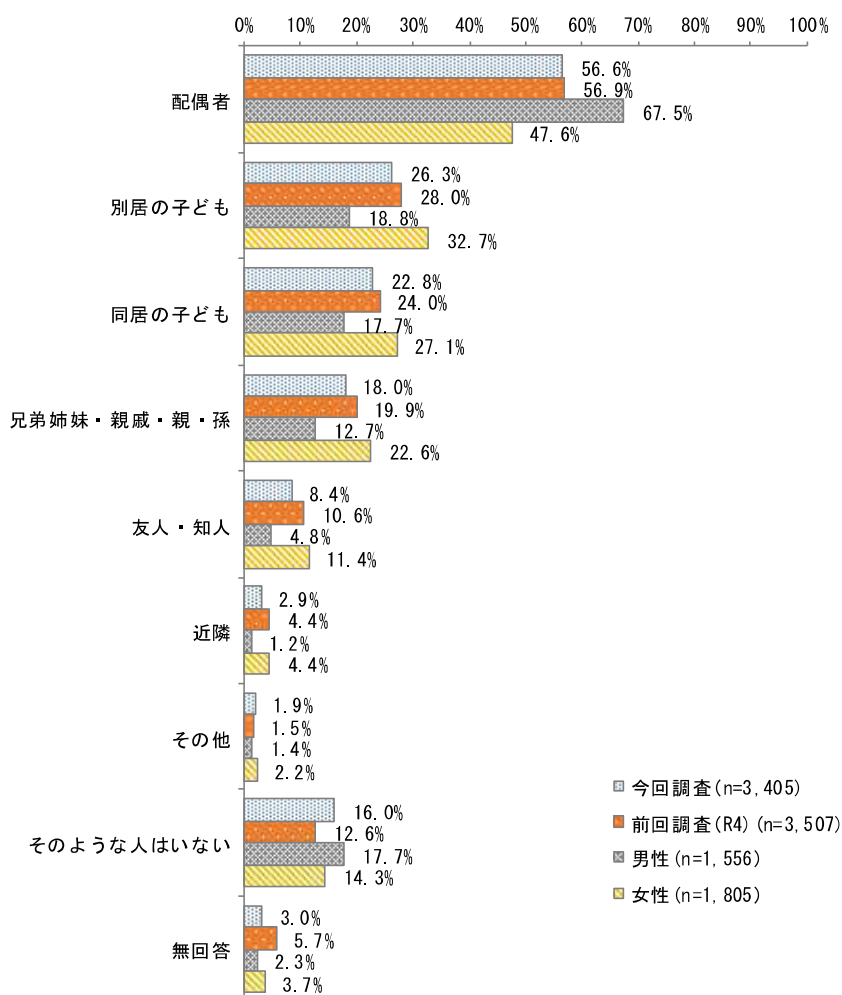
全体では、「配偶者」56.6%が最も高く、次いで「別居の子ども」26.3%、「同居の子ども」22.8%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

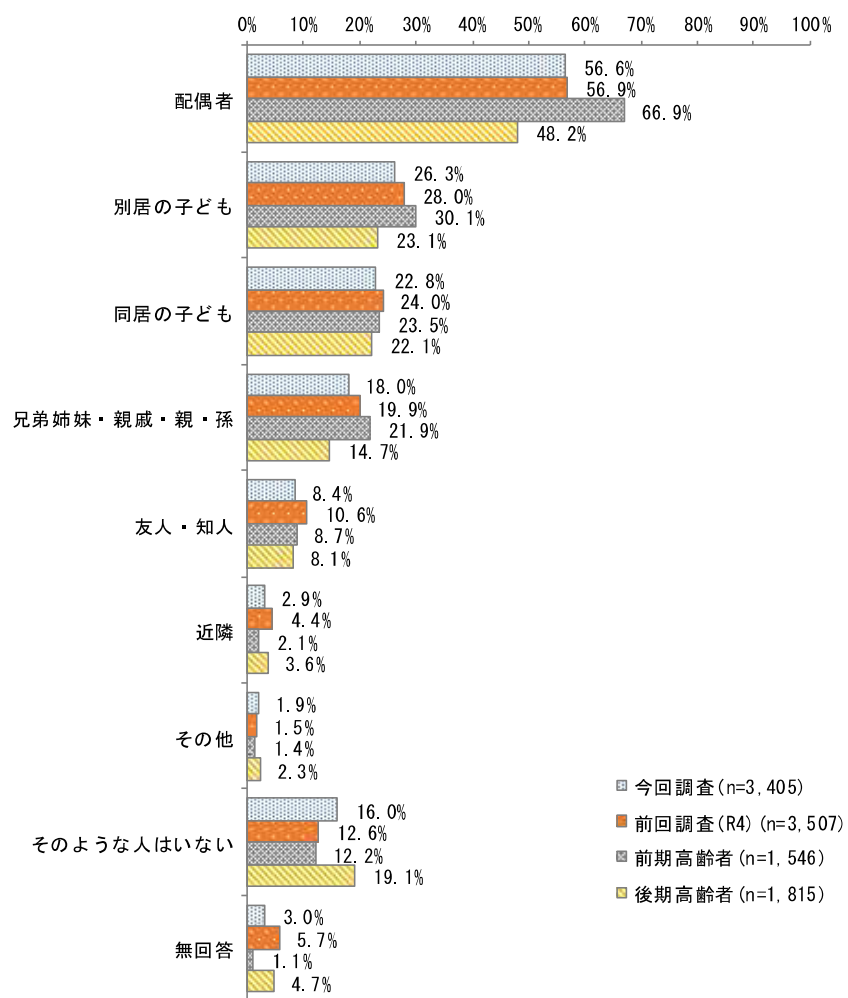
男女別でみると、女性が男性を上回る項目が多くみられる一方で、「配偶者」では19.9ポイント男性が女性を上回る。

年代別でみると、「別居の子ども」では7.0ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」では7.2ポイント、「配偶者」では18.7ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る。一方で、「そのような人はいない」では6.9ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【看病や世話をしあげられる人の有無（男女別）】



【看病や世話をしあげられる人の有無（年代別）】



(5)家族以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(複数選択可)

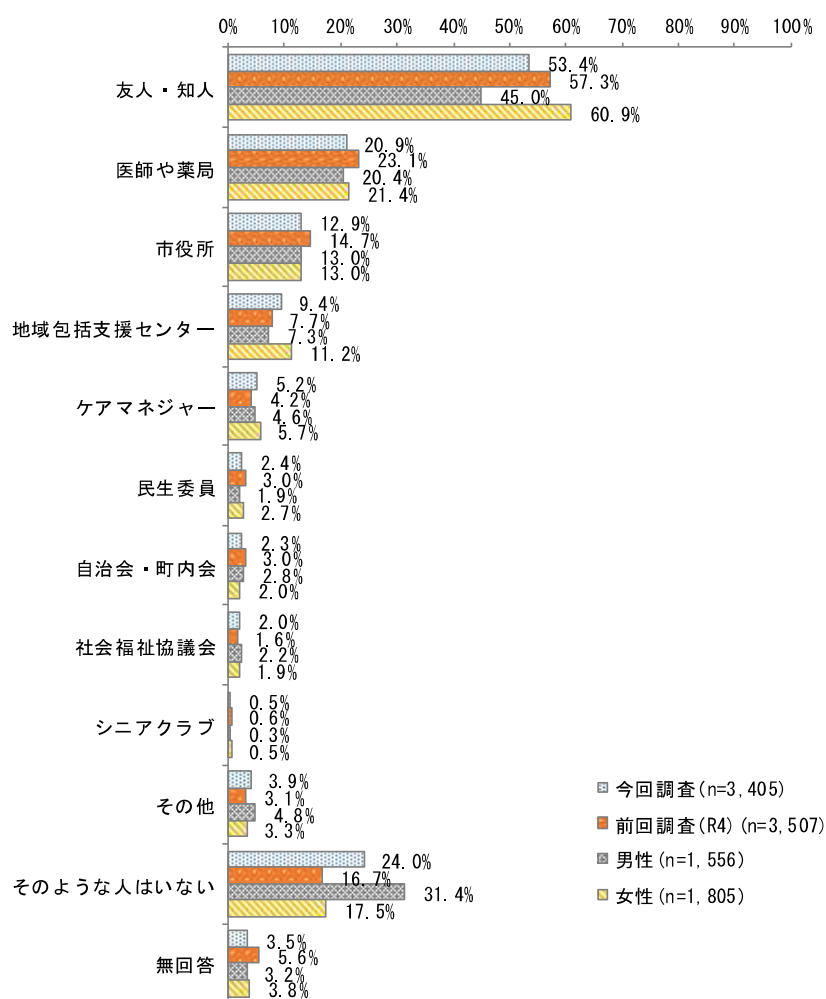
全体では、「友人・知人」53.4%が最も高く、次いで「そのような人はいない」24.0%、「医師や薬局」20.9%となっている。

前回調査と比較すると、「そのような人はいない」は7.3ポイント増加している。

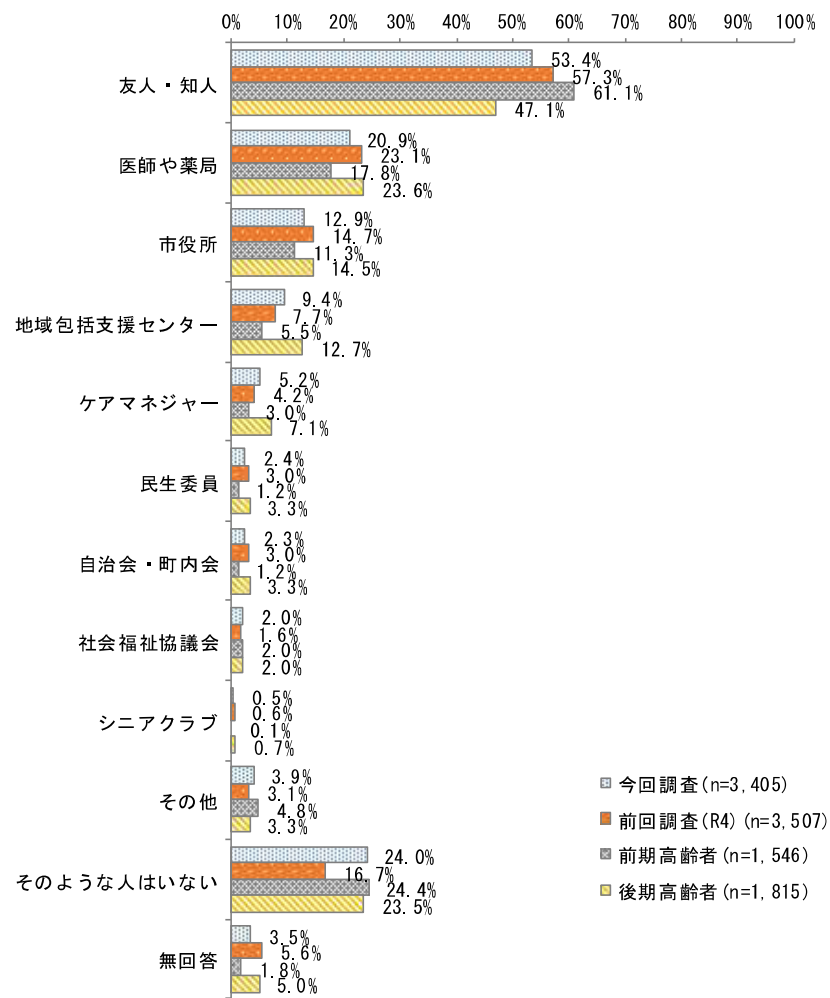
男女別でみると、「友人・知人」では女性が男性を15.9ポイント上回る。一方で「そのような人はいない」では男性が女性より13.9ポイント高くなっている。

年代別でみると、「友人・知人」では14.0ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る一方で、「医師や薬局」では5.8ポイント、「地域包括支援センター」では7.2ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【相談相手の有無（男女別）】



【相談相手の有無（年代別）】



(6)将来、あなたが日常生活で支援を必要とする状態となったときに、有償ボランティアの団体等に手助けをしてもらいたいことはありますか。(複数選択可)

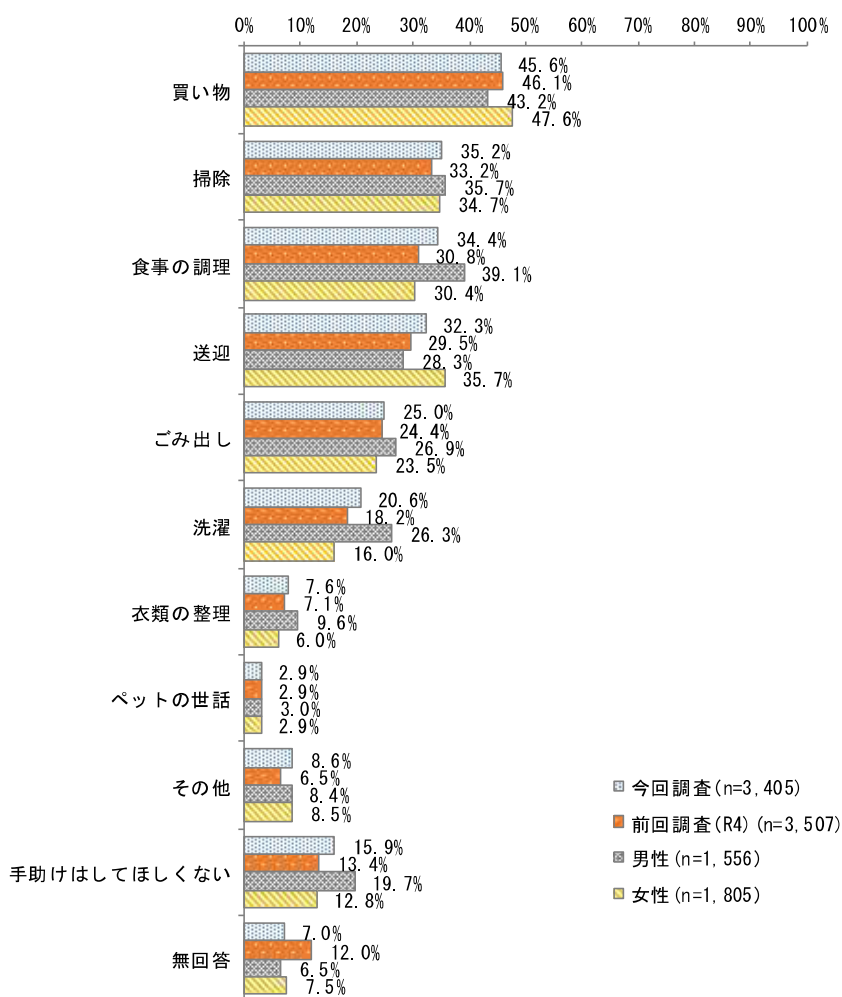
全体では、「買い物」45.6%が最も高く、次いで「掃除」35.2%、「食事の調理」34.4%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「食事の調理」では8.7ポイント、「洗濯」では10.3ポイント、「手助けはしてほしくない」では6.9ポイント男性が女性を上回る。一方で、「送迎」では7.4ポイント女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、大きな差異はみられない。

【有償ボランティアの団体等に手助けしてもらいたいこと（男女別）】



【有償ボランティアの団体等に手助けしてもらいたいこと（年代別）】

